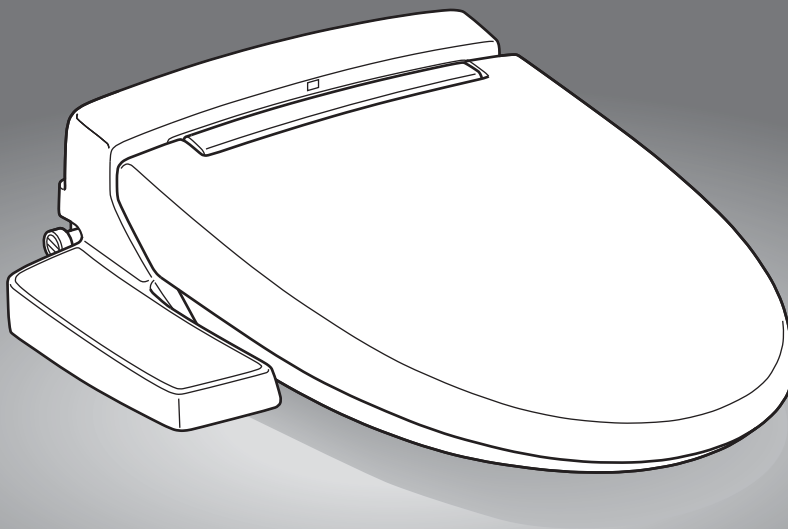


取扱説明書 | 保証書別添 |

シャワートイレ

KB シリーズ | CW-KB22 型, CW-KB21 型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、おひとりでご使用になるものです。しかも肌に直接触れます。万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

5～9ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

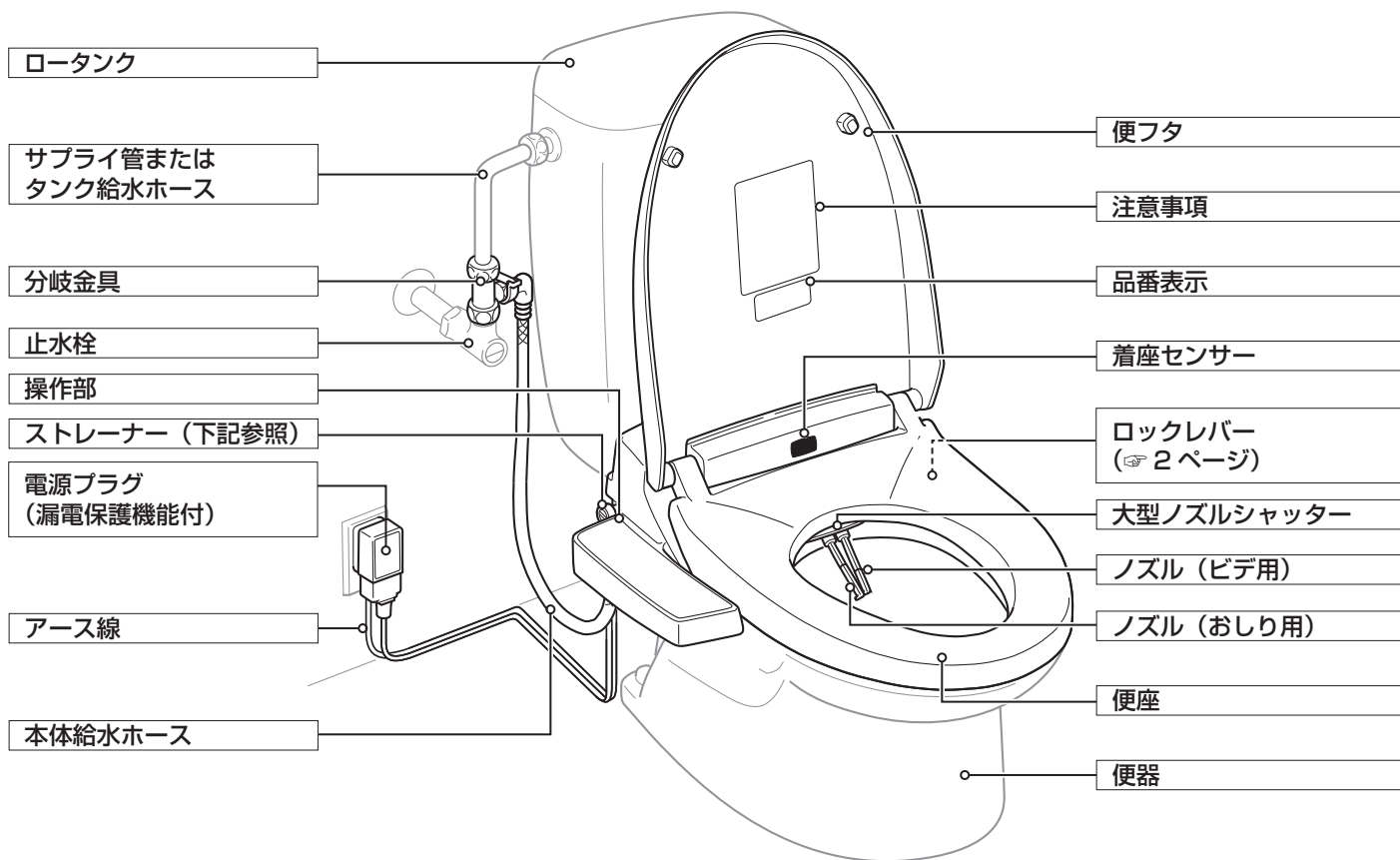


袋:PE



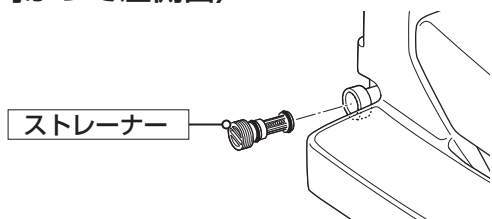
各部のなまえ

全体図



ストレーナー

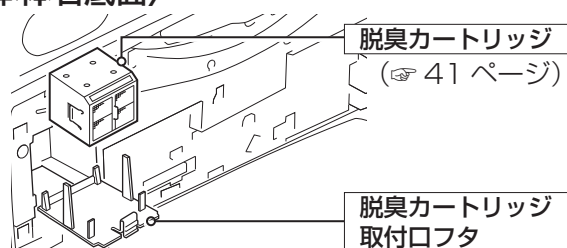
〈本体向かって左側面〉



- ※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
- ※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
- 外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。(☞ 42 ページ)

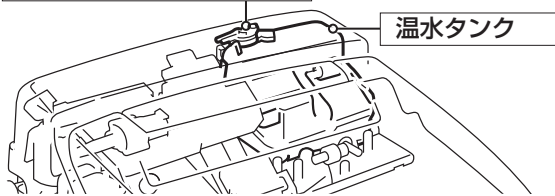
脱臭カートリッジ

〈本体右底面〉



負圧破壊装置 (バキュームブレーカー)

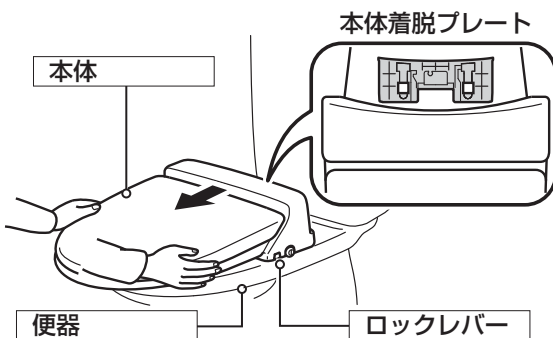
負圧破壊装置
(バキュームブレーカー)



温水タンク

※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
また、定期的な点検が必要です。(☞ 45 ページ)

本体着脱プレート & ロックレバー



本体着脱プレート

本体

便器

ロックレバー

※ お手入れ時、本体を着脱するための
プレートです。(☞ 35 ページ)

温水タンク水抜栓

〈本体向かって右側面〉

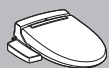


温水タンク水抜栓

※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。(☞ 46 ページ)

目次

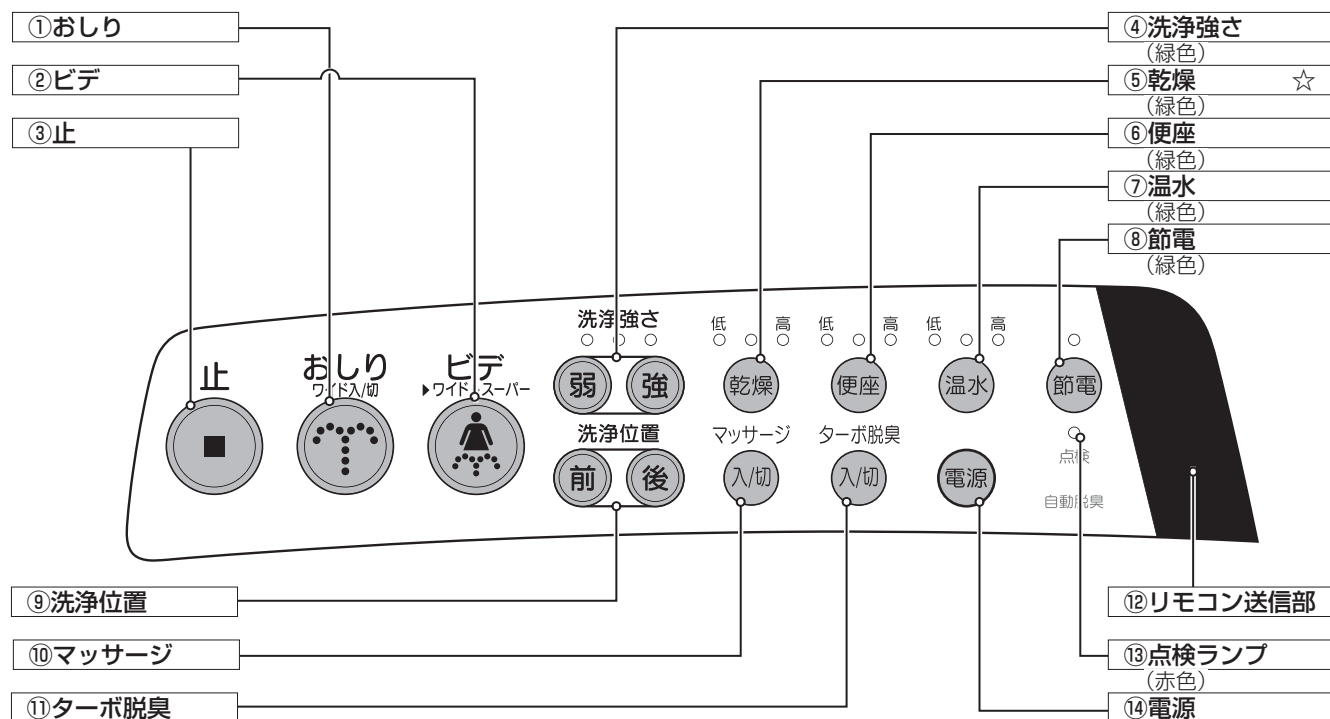
■ 最初にお読みください	
○各部のなまえ	1
■ 必ずお読みください	
○安全上のご注意	警告 5 注意 8
■ 故障を防ぐためのご注意	
○お取り扱い上のご注意	10
■ ご使用方法	
○ご使用前の準備と確認	11
①止水栓は開いていますか？	11
②電源プラグとアース線をコンセントに接続	12
③おしり洗浄のシャワーは出ますか？	13
④シャワー温度を調節	13
⑤便座温度を調節	13
○一般的な使い方	14
①便座に座ると脱臭が作動する（自動）	15
②シャワーで洗う	18
③温風で乾かす	19
④便器を洗浄する	20
■ 便利な使い方	
○節電【ワンタッチ節電（8 時間）/ スーパー節電（常時）】	21
○ニオイを強力に取り除く【ターボ脱臭】	22
○もっと快適に	22
低温ヤケドを防ぐ	22
洗浄強さをさらに強くする	23
温風乾燥の始めの温度を変える	24
便器洗浄の開始時間を変更する	25
洗浄強さを細かく設定する	26
お買い上げ時の設定に戻す	26
変更した設定の記憶について	26
■ 知っておけば便利で安心	
○知っておいていただきたいこと	27
○こんなときは	28
■ お掃除・お手入れ方法	31
■ 故障かな？と思ったら	
○修理を依頼する前に	50
■ 安全・安心にお使いいただくために	59
■ アフターサービス	62
■ 仕様	64
■ 別売品のご案内	65
■ 重大事故防止のためのお願い	66



各部のなまえ

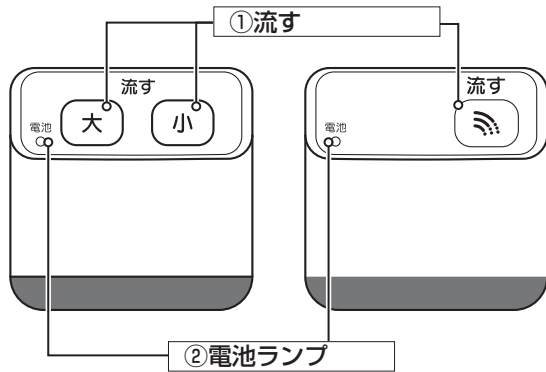
操作部

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



- ① 【おしり】 (➡ 15 ページ)
● おしり洗浄のときに。
- ② 【ビデ】 (➡ 16 ページ)
● ビデ洗浄のときに。
- ③ 【止】 (➡ 15/16/18 ページ)
● おしり・ビデ洗浄・乾燥〈乾燥付の場合〉を止めるときに。
- ④ 【洗浄強さ】 (➡ 15/16 ページ)
● おしり洗浄やビデ洗浄の洗浄強さを調節するときに。
- ⑤ 【乾燥】 (➡ 18 ページ)
● おしり洗浄・ビデ洗浄の後に。
- ⑥ 【便座】 (➡ 13 ページ)
● 便座温度の調節に。
- ⑦ 【温水】 (➡ 13 ページ)
● シャワー温度の調節に。
- ⑧ 【節電】 (➡ 20 ページ)
● トイレを使用しないときや節電のために。
- ⑨ 【洗浄位置】 (➡ 17 ページ)
● おしり洗浄やビデ洗浄の洗浄位置を調節するときに。
- ⑩ 【マッサージ】 (➡ 17 ページ)
● おしり洗浄のときに。
- ⑪ 【ターボ脱臭】 (➡ 21 ページ)
● 自動脱臭をより強力に。
- ⑫ 【リモコン送信部】
- ⑬ 【点検ランプ】 (➡ 59 ページ)
● 点検時期をお知らせします。
- ⑭ 【電源】 (➡ 11 ページ)
● シャワートイレ本体の電源を入/切するときに。

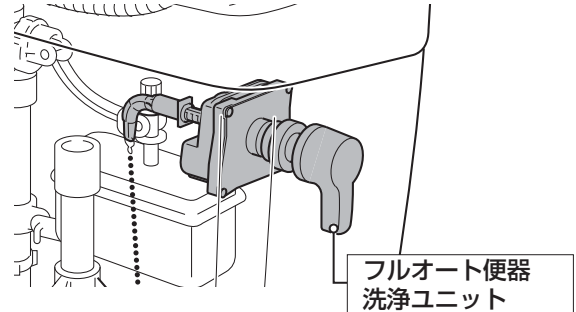
フルオート便器洗浄用リモコン☆



- ① **【流す】** (☞ 19 ページ)
 ● 便器洗浄のときに。
- ② **【電池ランプ】** (☞ 43 ページ)
 ● リモコン電池の交換を案内。

※ CW-KB22Q、KB21Q 型の場合、どちらかのリモコンが付いています。

フルオート便器洗浄ユニット☆



※ フルオート便器洗浄ユニットは、イラストと異なる場合もあります。

※ ロータンク部にあります。

保有機能一覧 (あり：○、なし：ー)

品 番	CW-KB22Q	CW-KB22	CW-KB21Q	CW-KB21
おしり・ビデ洗浄	○		○	
スーパーワイドビデ洗浄	○		○	
マッサージ洗浄	○		○	
洗浄位置調節	○		○	
温風乾燥	○		ー	
W パワー脱臭	2 モード		2 モード	
ターボ脱臭	○		○	
キレイ便座	○		○	
スーパー節電	○		○	
ワンタッチ節電	○		○	
フルオート便器洗浄	○	ー	○	ー
リモコン便器洗浄	○	ー	○	ー

※ 品番は、便フタ裏の品番表示 (☞ 1 ページ) に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で
電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。



禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。



指示実行

電源プラグの抜き差しは
プラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。



指示実行

電源プラグは
根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止

シャワートイレ本体や
電源プラグに水や洗剤を
かけない。
※ 感電・火災の原因になります。



禁止

ガタついているコンセントや
アースターミナル付接地極付以外の
コンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。



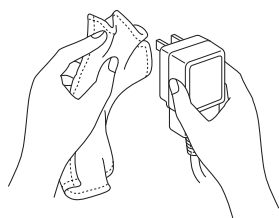
指示実行

電源プラグは
定期的にコンセントから抜いて
乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。



アース接続

アース線はコンセントの
アースターミナルへ確実に
接続する。
※ 感電などの原因になります。



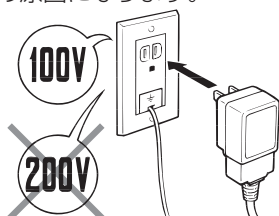
指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。



禁止

● AC100V 以外では使用しない。
● タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。



指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。



この表示は「注意しなさい！」の記号です。(左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。



警告



指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。
※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。



指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。
・ お子さま
・ お年寄り
・ 病気の方
・ ご自分で温度調節のできない方
・ 皮膚の弱い方
・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
・ 深酒された方
・ 疲労の激しい方
※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

長時間使用するとき便座温度を「切」にする。
※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

〈乾燥付の場合〉
次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。
・ お子さま
・ お年寄り
・ 病気の方
・ ご自分で温度調節のできない方
・ 皮膚の弱い方
・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
・ 深酒された方
・ 疲労の激しい方
※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

〈乾燥付の場合〉
乾燥を長時間使用するとき乾燥温度を「低」にする。
※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。
・ ㊦㊧を正しく入れる。
・ 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
・ 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
・ 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。
※ 電池の液もれにより火災の原因となります。
・ 乳幼児の手の届く場所には置かない。
※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
・ 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
・ 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。
※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。



禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。
・ 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
・ 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池と一緒に使用しない。
・ 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。
※ 電池の液もれにより火災の原因となります。



安全上のご注意



警告



水場使用禁止

バスルームなどの
湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

凍結の恐れがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
(☞ 47 ページ)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因
になります。

⚠ 注意



指示実行

プラスチック部のお手入れは、
便座に使用できる
(プラスチック用) 洗剤を使用する。

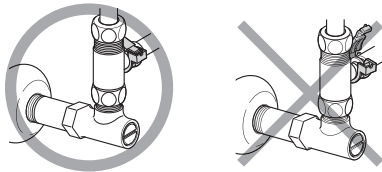
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレンジールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。



指示実行

クリップは給水ホースに、確実に
はまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、
漏水する恐れがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、
つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

水道水以外に接続しない。

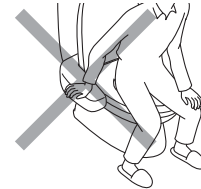
※ 機械内部の腐食により感電・火災およ
び皮膚の炎症の原因になります。



禁止

操作部の上に乗ったり、
手をついて立ち座りなどしない。

※ 破損してケガをする恐れがあります。



禁止

止水栓に手をかけたり、
乗ったりしない。

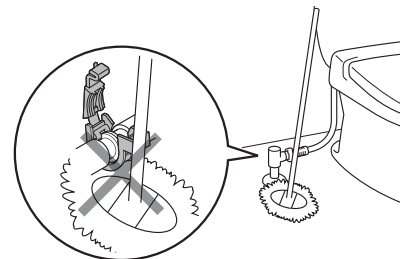
※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

お掃除のときなどに、
クリップに衝撃を与えたり、
引っ掛けない。

※ クリップの破損などにより給水ホース
が外れ、室内浸水の原因になります。



火気禁止

タバコや灰皿などの
火気類を近づけない。

※ 火災の恐れがあります。



禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをする恐れがあります。



禁止

便フタにもたれない。

※ ケガをしたり、破損したりすることが
あります。





安全上のご注意

注意



禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に
指を入れない。

※ ケガの恐れがあります。



指示実行

定期的に配管の周りを見て
水漏れがないか確認する。

※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが
発見できず、家財などをめらす財産損
害の恐れがあります。



指示実行

長期間使用しない場合は、
水抜き操作を行い、電源プラグを
コンセントから抜く。
(☞ 46 ページ)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れ
があります。

※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐
れがあります。



指示実行

お掃除のときには必ず
電源プラグをコンセントから抜く。

※ 感電の恐れがあります。
(ノズル掃除機能を使用する場合は、
電源を入れた状態で行ってください。)



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が転倒に注意する。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ ご自分で座ることや立ち上がること
ができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることが
あります。



指示実行

- ストレーナーを外すときは、
必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、
すき間がないようにしっかり
閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、
ゴミが O リングに付着して
いないことを確認する。

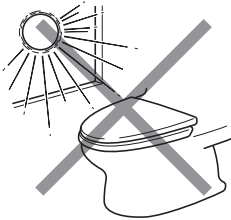
※ O リングにゴミが付着していると、漏
水し室内浸水の原因になります。



お取り扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。

- ※ プラスチック部が変色することがあります。
- ※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。



本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレトーパーなどでふかないでください。

詳しいお手入れ方法は 31 ページをご覧ください。

- ※ キズがつき光沢なくなることがあります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。

- ※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

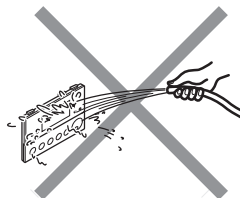


ぬれた手でリモコンを操作しないでください。

- ※ 故障の原因になります。

リモコンに水や洗剤をかけないでください。

- ※ 故障の原因になります。



〈フルオート便器洗浄付の場合〉

洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。その際は、洗浄ハンドルを戻してください。

(➡ 28 ページ)

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。

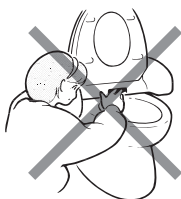
かかった場合は、すぐにふき取ってください。

- ※ 光沢なくなることがあります。

〈乾燥付の場合〉

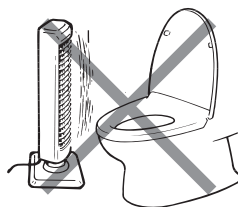
絶対に温風の吹出口をふさがないでください。

- ※ 故障の原因になります。



シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。

- ※ 変色や故障の原因になります。



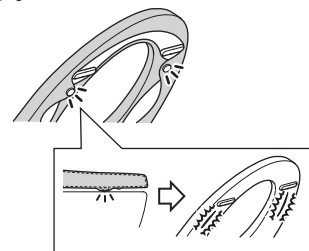
不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けしないでください。

- ※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。

- ※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。

- ※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。

- ※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。





ご使用前の準備と確認

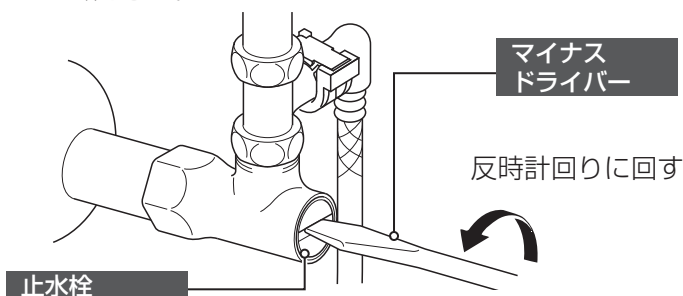
※ シャワートイレをはじめて使用される前に、必ず以下の項目を確認してください。

STEP

1

止水栓は開いていますか？

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。

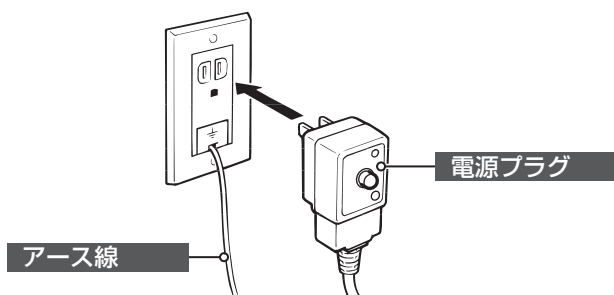


STEP

2

電源プラグとアース線をコンセントに接続

- 「アース線」をコンセントのアース端子に接続する
- 「電源プラグ」をコンセント (AC100V) に差し込む



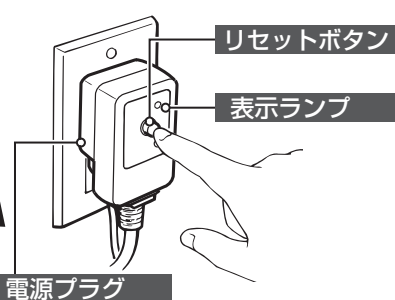
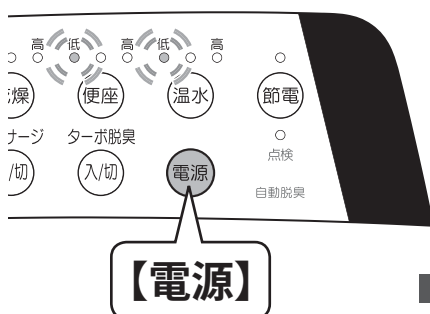
- 【便座】と【温水】の表示ランプ「低」が点灯していることを確認する

※ 操作部の【便座】と【温水】の表示ランプが点灯します。

【便座】と【温水】の表示ランプが点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」を押してください。

(操作部の【電源】を押すことで、本体の電源を入/切できます。「切」状態では機能は動作しません。)

● 操作部



※ 「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。電気を遮断すると表示ランプが点灯します。(通常は消灯しています。)

【注意】

- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

STEP

3

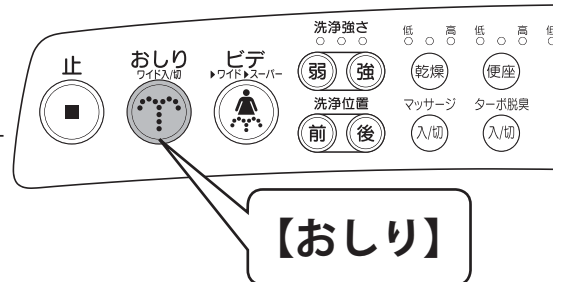
おしり洗浄のシャワーは出ますか？

● 着座センサーを紙や布で覆う

- ※ 覆う紙や布が黒色のとき、着座センサーが反応しない場合があります。
- ※ 人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。おしり洗浄・ビデ洗浄・乾燥（乾燥付の場合）は、着座していないと作動しません。

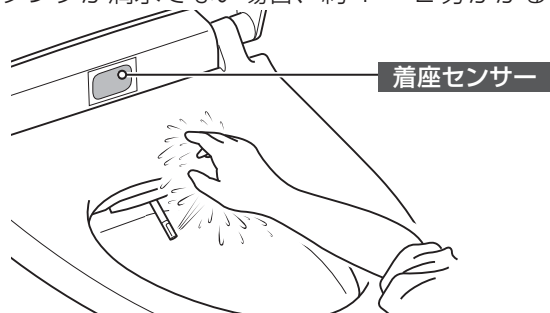
● 【おしり】 を押す

- ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。

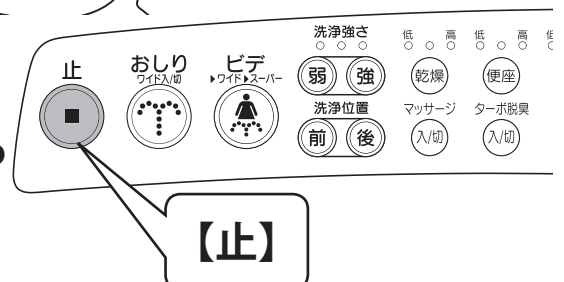


● ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

- ※ 温水タンクが満水でない場合、約 1 ～ 2 分かかることがあります。



● 【止】 を押して、シャワーを止める



● 着座センサーを覆っていた紙や布を取り去る

- ※ 一般的な使い方（14 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

⚠ 警告



アース接続

アース線はコンセントの
アースターミナルへ確実に
接続する。
※ 感電などの原因になります。

⚠ 警告



禁止

- AC100V 以外では使用しない。
- タコ足配線はしない。
- ※ 火災の原因になります。



ご使用前の準備と確認

STEP

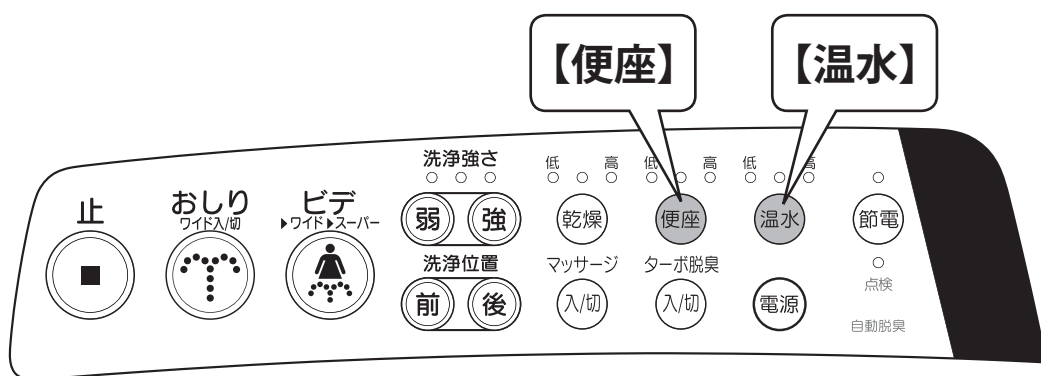
4

シャワー温度を調節

●【温水】を押す

※ 温水温度は 6 段階（「切（水温）」、「低（約 32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えられますので、お好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。



STEP

5

便座温度を調節

●【便座】を押す

※ 便座温度は 6 段階（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 36℃）」）に切り替えられますので、お好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。

温度設定 ランプ表示(○:消灯、●:点灯)

	低	(中)	高
切	○	○	○
低(お買い上げ時)	●	○	○
	●	●	○
	○	●	○
	○	●	●
高	○	○	●

切り替わる順番

⚠ 警告



指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

(参考)

- シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。(☞ 22 ページ)
- 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。



一般的な使い方

STEP

1

便座に座ると脱臭が作動する（自動）

1 座ると通常脱臭

脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。



2 立ち上がると強力脱臭

脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。



3 脱臭停止

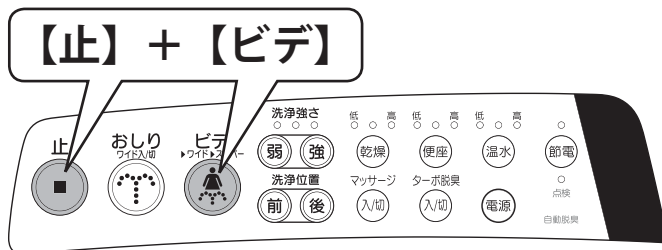
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

※ 再び、使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。



(参考)

● シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。(41 ページ)

❖ 便フタにカバーを取り付ける場合

不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーにカバーが掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。



一般的な使い方

STEP

2

シャワーで洗う

おしり洗浄▶ワイド洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。

おしり洗浄

- 【おしり】を押す
- 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの

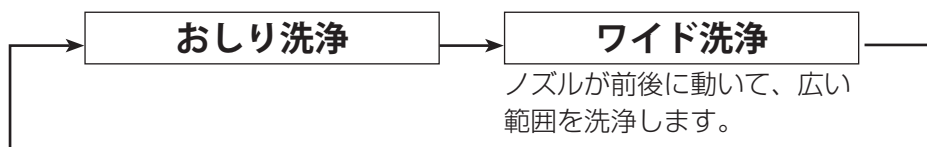
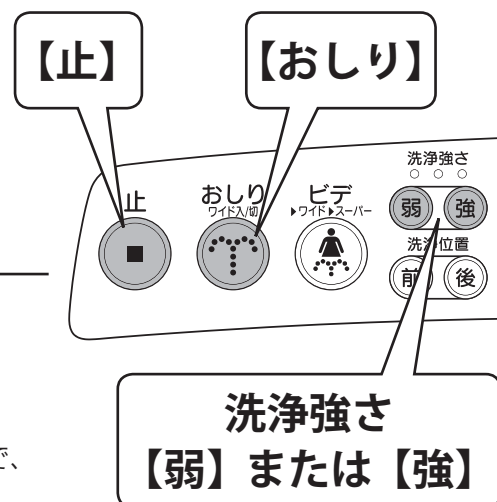
【弱】または【強】を押す

- ※ 洗浄強さは3段階あります。お好みの強さに調節してください。
- ※ 洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
- ※ 洗浄強さの感じ方には個人差があります。

ワイド洗浄をするとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

- ※ おしり洗浄中、【おしり】を押すたびに切り替わります。
- ※ 洗浄を止め、もう一度【おしり】を押すと「おしり洗浄」から始まります。



【注意】

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さが「弱」にあると、ノズルが出ないことがあります。このようなときは、一度「強」にしてから、お好みの強さに再度調節してください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

（参考）

- おしり洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。
(☞ 22 ページ)
- 洗浄強さを5段階にすることができます。
(☞ 25 ページ)

❖おしり洗浄は

2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて

おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は

洗浄の前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 28 ページ)

ビデ洗浄 ▶ ワイド洗浄 ▶ スーパーワイドビデ洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

ビデ洗浄

- 【ビデ】を押す
- 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの

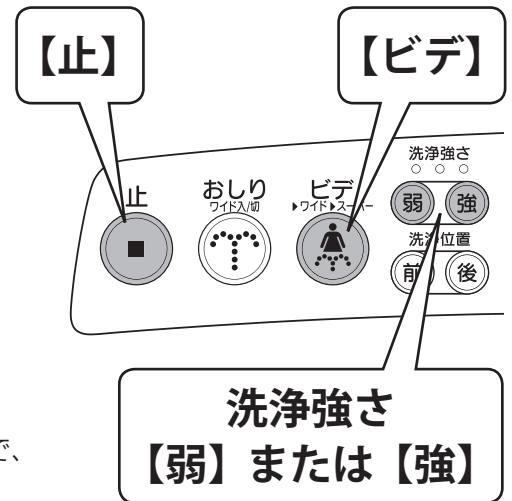
【弱】または【強】を押す

- ※ 洗浄強さは 3 段階あります。お好みの強さに調節してください。
- ※ 洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
- ※ 洗浄強さの感じ方には個人差があります。

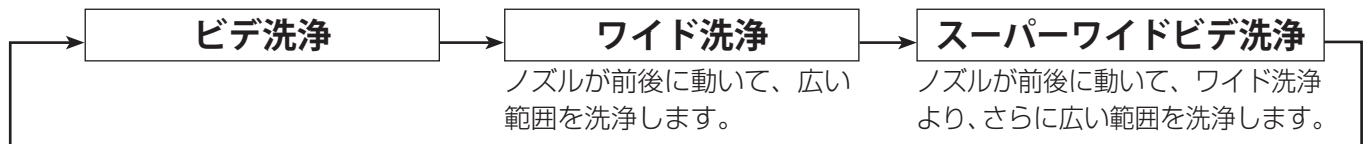
洗浄モードを切り替えるとき

ビデ洗浄中に、もう一度【ビデ】を押す

- ※ ビデ洗浄中、【ビデ】を押すたびにモードが切り替わります。
- ※ 洗浄を止め、もう一度【ビデ】を押すと「ビデ洗浄」から始まります。



ご使用方法



【注意】

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さが「弱」にあると、ノズルが出ないことがあります。このようなときは、一度「強」にしてから、お好みの強さに再度調節してください。
- てください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

【参考】

- 洗浄強さを 5 段階にすることができます。
(☞ 25 ページ)

❖ビデ洗浄は

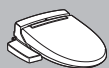
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて

ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は

洗浄の前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 28 ページ)



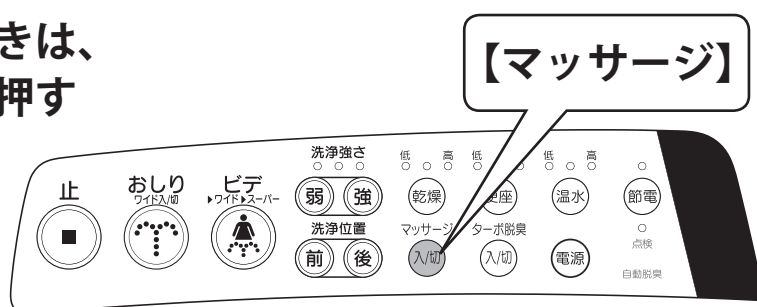
一般的な使い方

マッサージ洗浄

おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

※ ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

- おしり洗浄中に
【マッサージ】を押す
- マッサージ洗浄を止めるときは、
もう一度【マッサージ】を押す



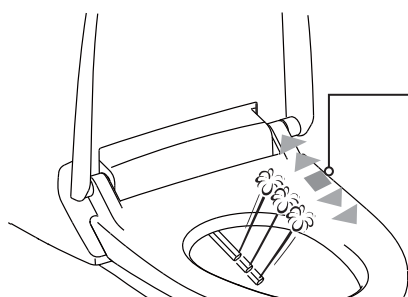
❖ マッサージ洗浄は

マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

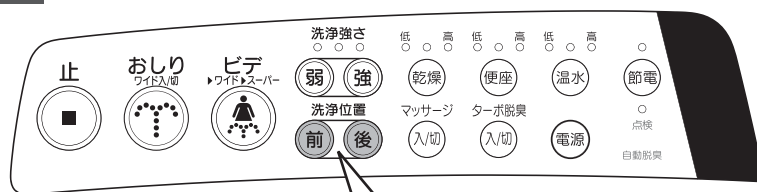
洗浄位置

おしり・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

- 洗浄位置の【前】または【後】を押す
 - ※ 洗浄位置は 5 段階に調節することができます。
 - 初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。
 - ※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



初期位置



洗浄位置
【前】 または 【後】

STEP

3

温風で乾かす

※ この機能のついていない機種があります。
4 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

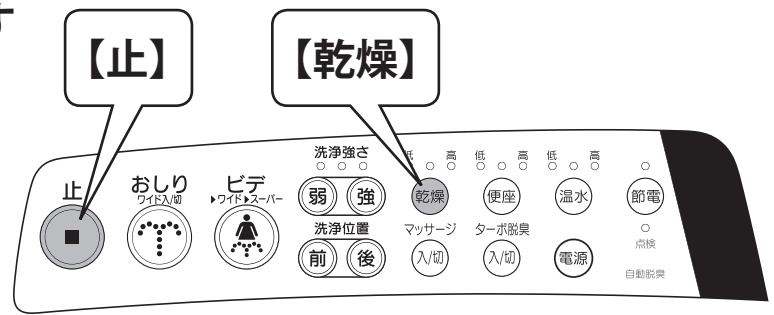
温風乾燥

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。

●【乾燥】を押す

※ 温風の温度は 3 段階に調節できます。
※ 乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

●止めるときは、【止】を押す



温風温度を変えるとき

乾燥中に、もう一度【乾燥】を押す

※ スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度が切り替わります。
※ スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。
※ 表示ランプは数秒後に消灯します。
※ 乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。



⚠ 警告



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、
ヤケドをおこす恐れがあります。

(参考)

- 洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度を「高」または「低」から始まるようにする「温風始動温度切替え」機能が付いています。
(☞ 23 ページ)

❖ 温風乾燥は

4 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。



一般的な使い方

STEP

4

便器を洗浄する

※この機能のついていない機種があります。
4 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

フルオート便器洗浄

立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※お買い上げ時は「入」になっています。

設定を切り換えるとき

**【止】と【おしり】を同じタイミングで
2 秒以上押す**

【止】+【おしり】



[注意]

- フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
※洗浄水が流れっ放しになります。

リモコン便器洗浄

大・小洗浄便器の場合

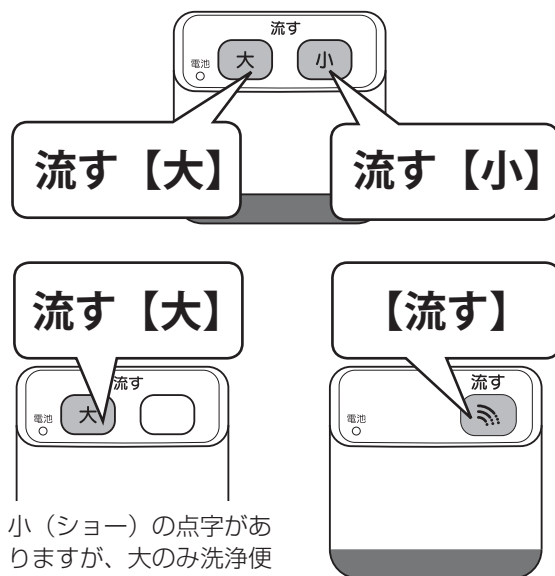
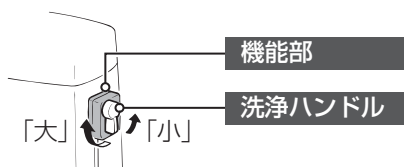
**大便時は流す【大】を、
小便時は流す【小】を押す**

- ※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。
- ※小ホールド洗浄タイプの便器にこのシャワートイレを取り付けた場合、下記の「大のみ洗浄便器の場合」となります。

大のみ洗浄便器の場合

**便器洗浄時に【大】または
【流す】を押す**

- ※機能部がロータンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。



※小（ショー）の点字がありますが、大のみ洗浄便器の場合、このスイッチは使用できません。目の不自由な方がご使用になれる場合は、その旨で説明ください。

[注意]

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。

❖洗浄のタイミングは

フルオート便器洗浄は、便座に 10 秒以上座り、立ち上がったから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。
(☞ 24 ページ)

❖大洗浄と小洗浄の区別は

フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。
(ただし 50 秒未満でもおしり・ビデ洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)



節電【ワンタッチ節電（8 時間） / スーパー節電（常時）】

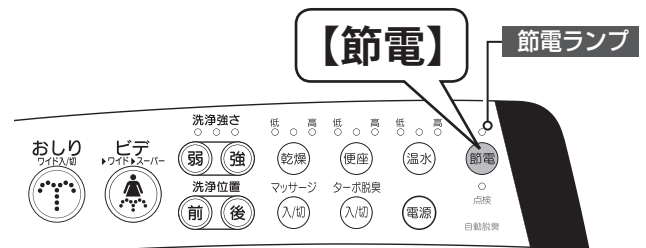
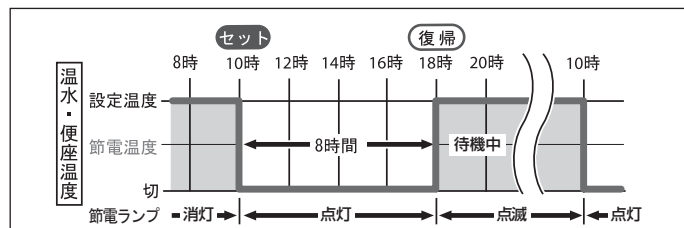
節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

ワンタッチ節電（8 時間）

長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

1 【節電】を押す

※ 操作部の節電ランプが点灯します。



※ 8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り「待機中」になります。

(参考)

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

ワンタッチ節電を解除するとき

【節電】を押す

※ 操作部の節電ランプが消灯します。

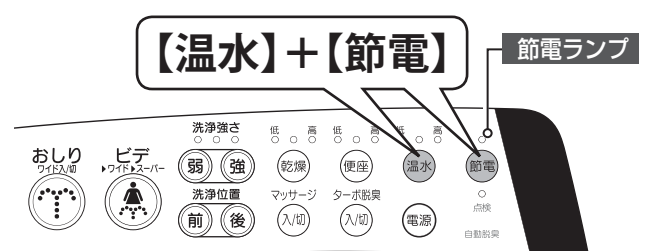
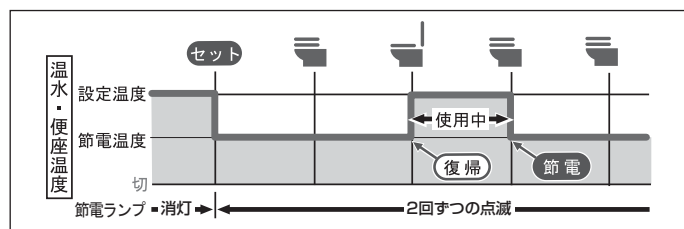
スーパー節電（常時）

使用していないとき、温水と便座の温度を下げ消費電力を抑える節電機能です。

※ 使用していないときは常に節電しています。

1 【温水】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 操作部の節電ランプが点滅します。



※ ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は操作部の節電ランプが点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

スーパー節電を解除するとき

【温水】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 操作部の節電ランプが消灯します。

(参考)

- 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。



ニオイを強力に取り除く【ターボ脱臭】

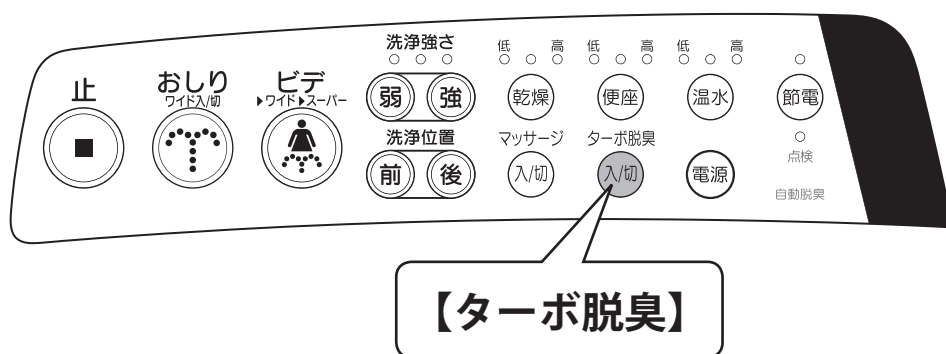
リモコンの【ターボ脱臭】を押すと、自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のニオイを除去します。

1 自動脱臭作動中に、 【ターボ脱臭】を押す

※脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去機能が向上します。

2 ターボ脱臭を止めるときは、 もう一度【ターボ脱臭】を押す

※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。



(参考)

●脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

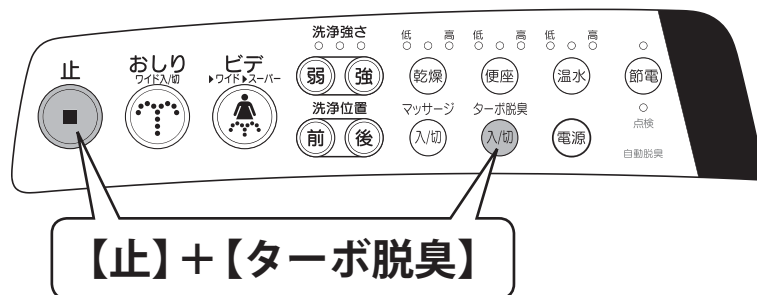
自動脱臭を常にターボモードにするとき

【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

※脱臭時は、常に「ターボモード」で便鉢内のニオイを除去します。

※元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。





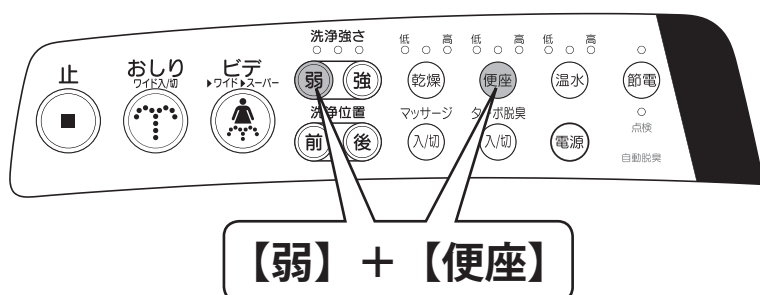
もっと快適に

低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に座ると、自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。お買い上げ時は設定されていません。

洗浄強さ【弱】と【便座】を同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に1回点滅します。



※ この機能を使用中に連続で使用すると便座がぬるく感じる場合があります。
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

便利な使い方

元の設定に戻すとき

洗浄強さ【弱】と【便座】を同じタイミングで2秒以上押す

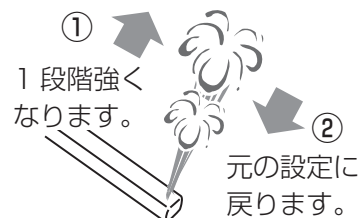
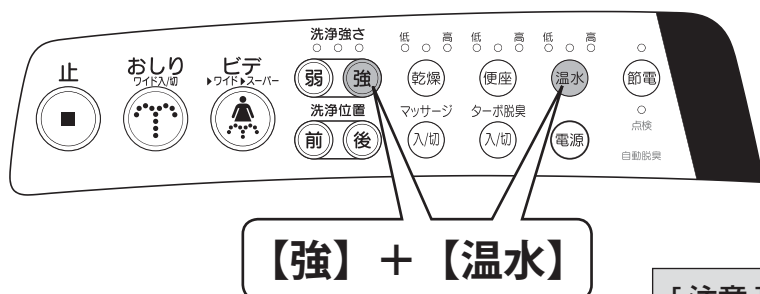
※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に2回点滅します。

洗浄強さをさらに強くする

おしり洗浄の洗浄強さ「強」を、さらに1段階強くすることができます。お買い上げ時は設定されていません。

洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に1回点滅します。



【注意】

● 洗浄強さを強くした場合、お湯切れが早くなります。

元の設定に戻すとき

洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に2回点滅します。



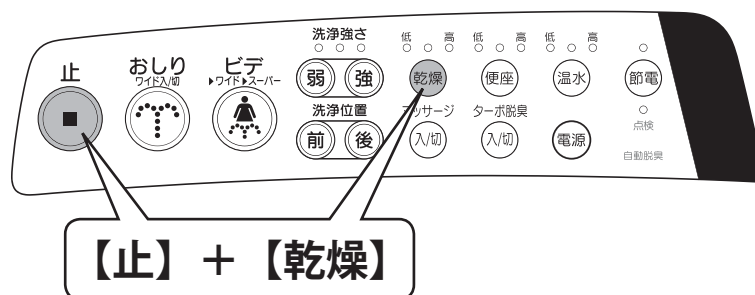
もっと快適に

温風乾燥の始めの温度を変える〈乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。お買い上げ時は「中」に設定されています。

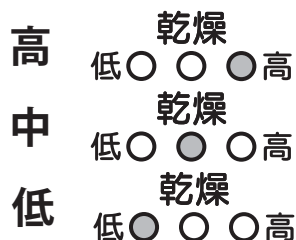
【止】と【乾燥】を同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に1回点滅します。



※ 乾燥始動時の温風温度が順次切り替わります。

※ 乾燥温度ランプ表示も順次切り替わります。



※ 切替え順は下図のとおりです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを 押したときの温度の切り替わり方		
		1回目	2回目	3回目
お買い上げ時の設定	中	高	低	中
1度目	低	中	高	低
2度目	高	中	低	高

元の設定に戻すとき

【止】と【乾燥】を同じタイミングで2秒以上押す操作を 乾燥始動時の温度が「中」になるまで繰り返す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に1回点滅します。

⚠ 警告



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

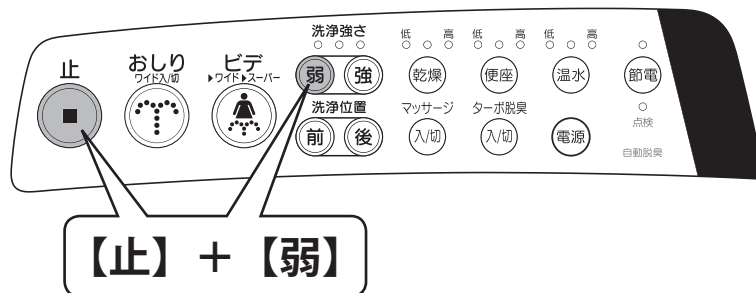
※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、
ヤケドをおこす恐れがあります。

便器洗浄の開始時間を変更する〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、立ち上がってから約 6 秒後に、自動的に便器洗浄を開始する機能です。この開始時間を切り替えることができます。お好みに合わせて切り替えてください。お買い上げ時は、約 6 秒後に設定されています。

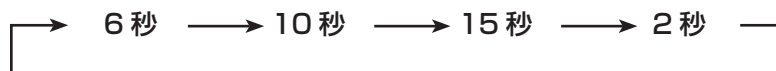
【止】と洗浄強さ【弱】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。



同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 → 6 秒…の順に切り替わります。(下図参照)

初期設定



元の設定に戻すとき

【止】と【弱】を同じタイミングで 2 秒以上押す操作を初期設定になるまで繰り返す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。



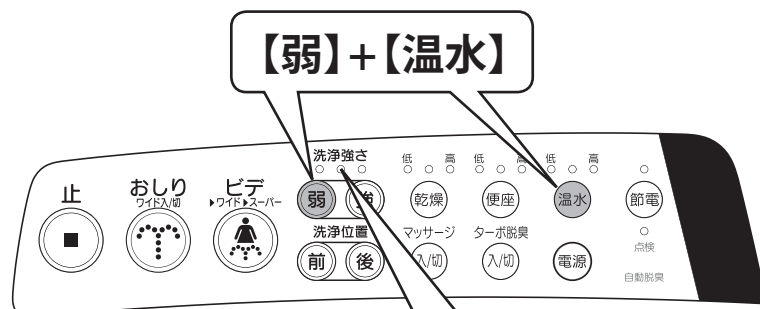
もっと快適に

洗浄強さを細かく設定する

おしり洗浄・ビデ洗浄の洗浄強さを 3 段階から 5 段階に切り替えることができます。

洗浄強さ【弱】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。



3 段階		5 段階	
表示ランプ	洗浄強さ	表示ランプ	洗浄強さ
● ○ ○	弱	● ○ ○	弱
○ ● ○	中	● ● ○	弱中
○ ○ ●	強	○ ● ○	中
		○ ● ●	中強
		○ ○ ●	強

※「弱」と「中」の間の強さは「弱」「中」両方のランプが点灯し、「中」と「強」の間の強さは「中」「強」両方のランプが点灯します。

元の設定に戻すとき

洗浄強さ【弱】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

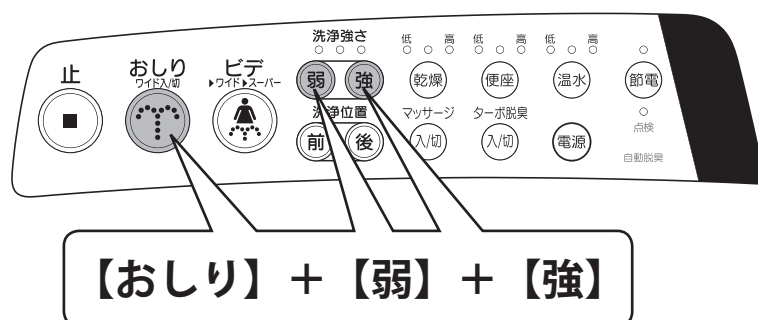
※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【おしり】と洗浄強さ【強】、【弱】を同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に2回点滅します。



■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
	脱臭モード	通常モード
節電	ワンタッチ節電	切
	スーパー節電	切
洗浄強さ	「強」をさらに1段強くする	切
温水温度		低
便座温度		低
便座ヒーターオート OFF		切
乾燥	温風始動温度	中
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから6秒後に開始

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。(ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。(☞ 20 ページ))



知っておいていただきたいこと

温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分かかります。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切（水温）、低（約 32℃）～高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

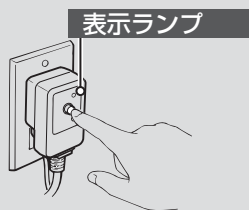
切（室温）、低（約 28℃）～高（約 36℃）

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

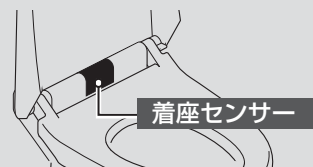
- ① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
- ② 「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。



※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。



- ※ 便座に座らないと「おしり洗浄」、「ビデ洗浄」、「乾燥（乾燥付の場合）」の各機能が作動しません。
- ※ 便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。

着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に正しく作動しないことがあります。

- 前にかがんだり、前寄りに座った場合（特に幼児や児童などの身長が低い方がご使用の場合）
- ※ 便座に深めに座るなど、座り方を変えてみてください。
- 黒色や毛羽立った生地などの光が反射しにくい衣類を着ている場合
- ※ 肌を検知させるようにしてください。
- センサーに汚れや水滴などが付着している場合
- ※ 汚れや水滴などを取り除いてください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

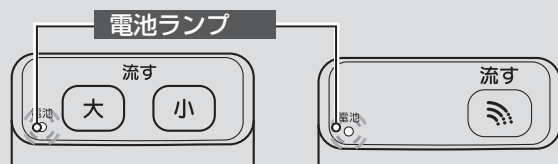
便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように「スローダウン機構」が装備されています。



- ※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。〈リモコン付の場合〉

リモコンの「電池ランプ」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。（☞ 43 ページ）



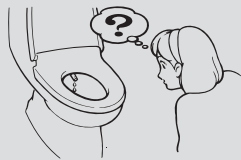
- ※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
- ※ トイレのドアを開けたままや「電池ランプ」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。



こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。



※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

洗浄強さが「弱」ではノズルが出てこない。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。

水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。

このようなときは、洗浄強さを強くしてください。

(☞ 15,16,22 ページ)

使い始めに温風がにおう。 〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。

ご使用とともに消えていきます。

省エネのために。

- 使用後は便フタを閉じる
- 便座カバーを取り付ける
- 便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- 季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- 節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する

● 長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る
※ 便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。

※ 凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうときは」をご参照ください。

(☞ 47 ページ)

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。



使う洗剤は？

便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

小用時には。

- 洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

洗浄ハンドルが途中で止まったら。 〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れっぱなしになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。

このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。

(2) 停電が終わりましたら、リモコンの流す【大】を押して作動させます。

本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

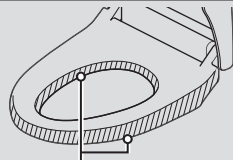




こんなときは

便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じる場合があります。



側面が冷たい



お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種 類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したTシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	—
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	脱臭カートリッジ

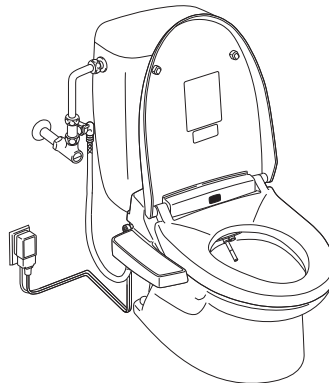
LIXILのお掃除グッズ

種 類		使う場所
トイレ用お掃除ティッシュ 〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。 使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除 クリーナー 〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹き かけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー	33 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	35 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	



ノズルシャッター	37 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	38 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器	便器の取扱説明書をご覧ください。
----	------------------

[注意]

- お掃除・お手入れのときは、リモコンの【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にして行ってください。
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたり、便座・便フタが閉じたりします。

⚠ 警告



水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに
水や洗剤をかけない。

※ 感電・火災の原因になります。

⚠ 注意



指示実行

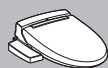
プラスチック部のお手入れは、
便座に使用できる（プラスチック用）
洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。



□ お掃除・お手入れ方法

- 便座・便フタのお掃除 …………… 33
- 便フタを外して掃除する …………… 34
- 隠れた部分のお掃除【本体スライド着脱】 …… 35
- ノズルシャッターを清潔に …………… 37
- ノズルのお掃除 …………… 38
- ノズルの先端を取り替えたい …………… 39
- 脱臭効果が弱くなったら …………… 41
- シャワーが弱くなったら …………… 42
- リモコンの電池マークが点滅したら …… 43
- 電源プラグ（漏電保護機能付）の点検 …… 44
- 定期的な点検のお願い …………… 45
- 長期間使用しないときは …………… 46
- 凍結しそうなときは …………… 47
- 引越しなどで本体を移設するときは …… 49



便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

- 柔らかい布で水ぶきをしてください。
- お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（👉 65 ページ）

水ぶきするのはなぜ？

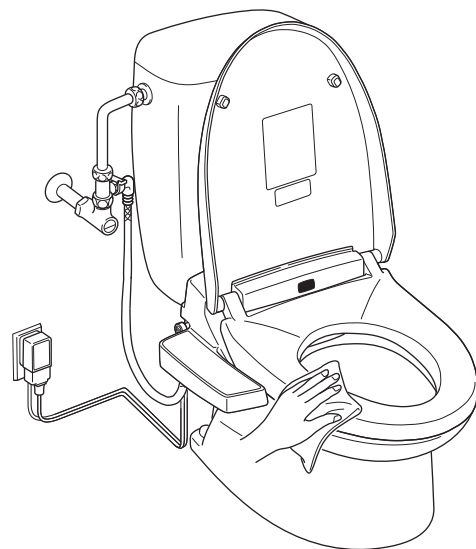
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。

ご不明な点は、洗剤メーカーにご確認してからご使用ください。

※ 別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（👉 65 ページ）をご覧ください。



【注意】

- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※ キズが付く原因になります。

❖抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

❖キレイ便座について

キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

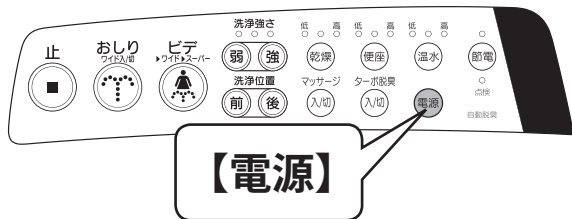


便フタを外して掃除する

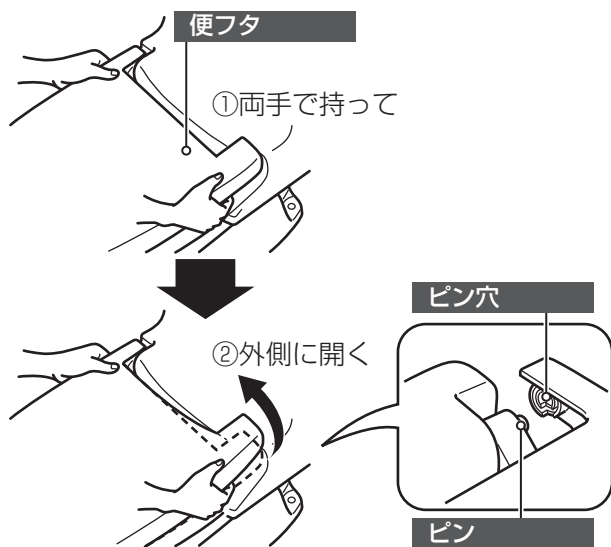
便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの取外し

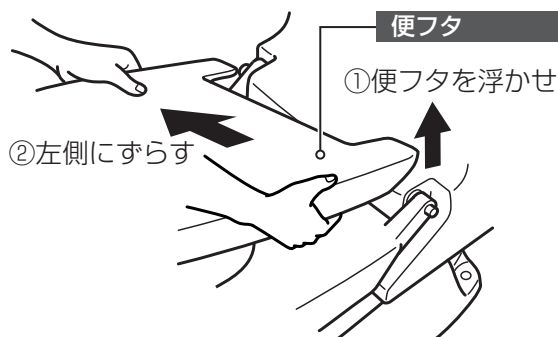
- 1**【電源】を押して「切」にし、すべての表示ランプが消灯していることを確認する



- 2** 便フタを両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外す

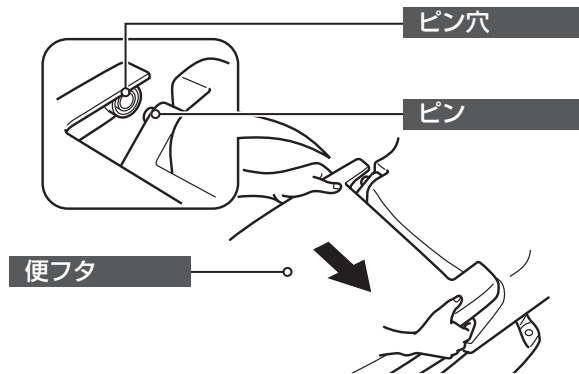


- 3** 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す

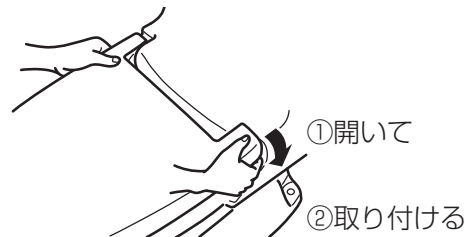


便フタの組付け

- 1** 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む



- 2** 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける



- 3**【電源】を押して「入」にし、【洗浄強さ】の表示ランプが点灯していることを確認する



[注意]

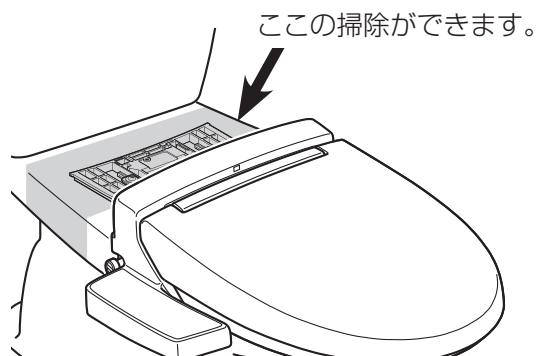
- 便フタに無理な力を加えないでください。
※ 破損する恐れがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
※ カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。



隠れた部分のお掃除【本体スライド着脱】

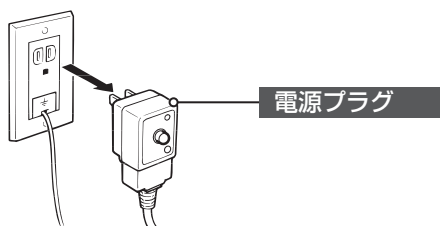
本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。

※ 分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。



本体の取外し

1 電源プラグをコンセントから抜く

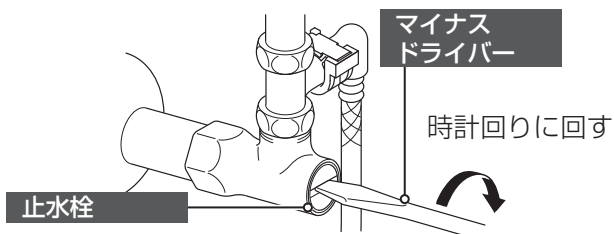


[注意]

- 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※ 故障の原因になります。

2 止水栓を閉めて給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

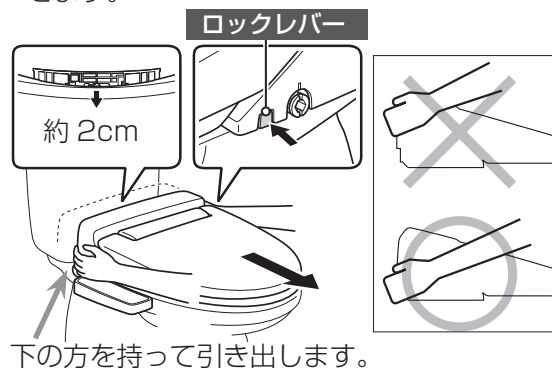


3 温水タンクの水を抜く (→ 46 ページ)

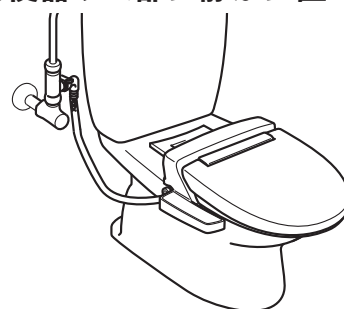
※ 温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

4 本体を外す

- ① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。
- ② ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。



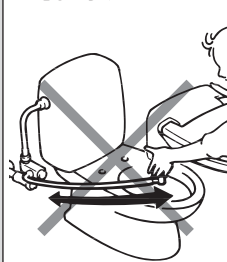
5 本体を便器リム部に静かに置く



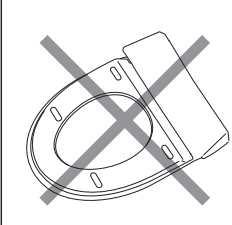
[注意]

- コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。
※ 破損や漏水の恐れがあります。
- 本体の取外し時や掃除時には、ていねいに扱ってください。
※ 漏水・故障の原因となります。
- 本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
※ 故障の原因になります。

●引っ張らないで！



●電源を入れたまま裏返さないで！



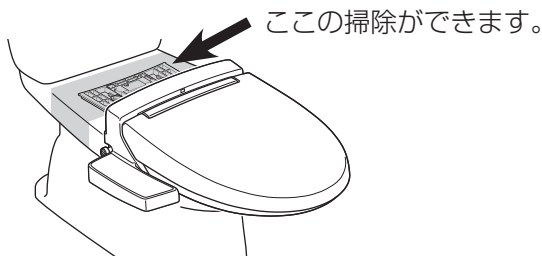
隠れた部分のお掃除

シャワートイレ本体の掃除は・・・

- 柔らかい布で水ぶきをしてください。
- お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」(別売品)をおすすめします。
(☞ 65 ページ)

便器部の掃除は・・・

- 便器の取扱説明書にしたがってください。



⚠ 警告



水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

[注意]

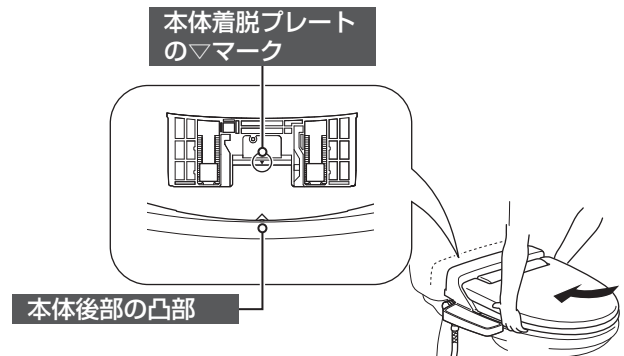
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。
※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。
※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



本体の組付け

1 本体を取り付ける

- ① シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの▽マークと本体後部にある凸部を合わせる

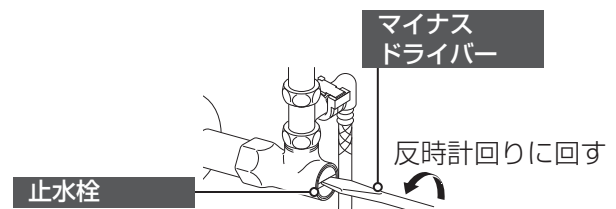


- ② 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にゆっくりスライドさせる
※ カチッと音が出るまでしっかりと押し込んでください。

固定後、本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

2 止水栓を元の位置まで開く

各部に漏水がないことを確認してください。

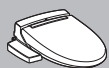


3 電源プラグをコンセントに差し込む

- 再び使用するとき必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 11 ページ)

[注意]

- 本体が確実に固定されていることを確認してください。
※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- ホース類を無理に曲げないでください。
※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

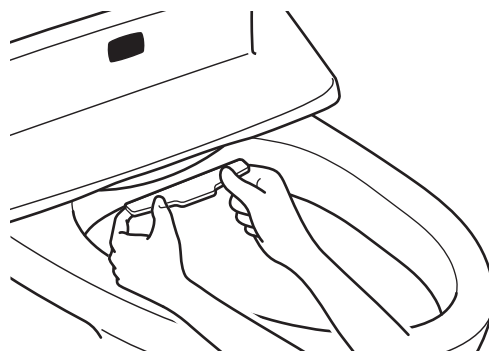


ノズルシャッターを清潔に

- 柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。

【注意】

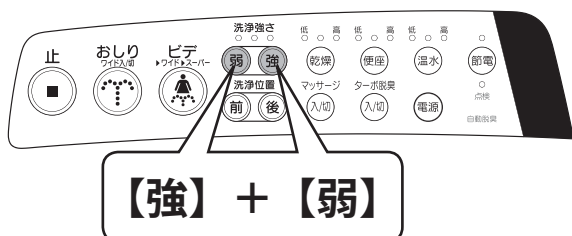
- 乾いた布やトイレトペーパーでふかないでください。
 - 歯ブラシでこすらないでください。
- ※ キズが付く原因になります。



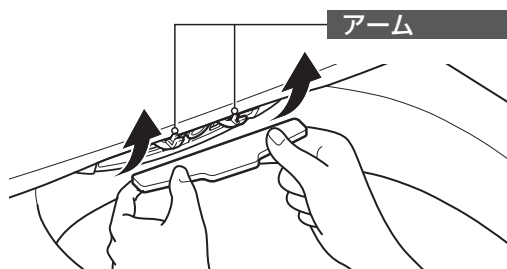
ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

ノズルシャッターの取外し

- 1 【止】と【おしり】を同じタイミングで2秒以上押し、自動洗浄を「切」にする
〈フルオート便器洗浄付の場合〉
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。
- 2 便フタ・便座を開く
- 3 洗浄強さ【強】と【弱】を同じタイミングで2秒以上押し、ノズルシャッターを開く
※ ノズルが少し伸び出て、ノズルシャッターが開きます。このときノズルから約3秒間水が出ます。



- 4 ノズルシャッターを両手で上方に引っ張り、取り外す

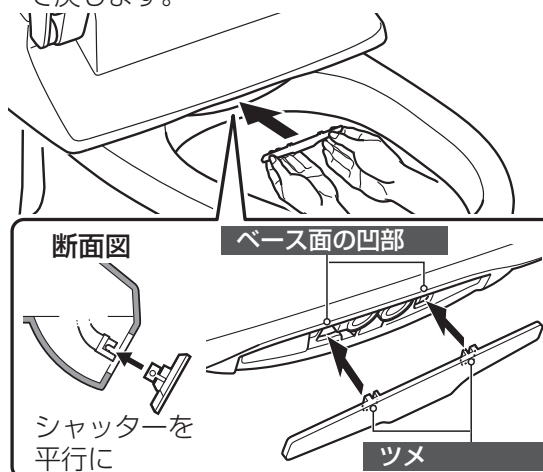


※ 取り外しにくい場合は、アームを押さえながら外してください。

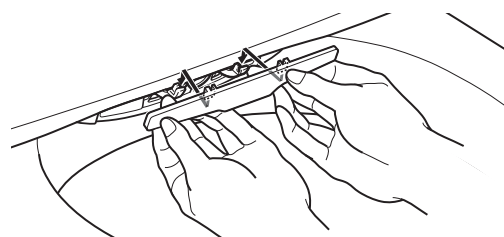
- 5 【止】を押し、伸び出ているノズルを戻す
- 6 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

- 1 ノズルが伸び出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ（2カ所）をベース面の凹部に強く押し込む
※ ノズルが伸び出ている場合は、止スイッチを押して戻します。



※ 取り付けにくい場合は、「ノズルシャッターの取外し」3の操作をしてアームを出してください。アームを押さえながら取り付けてください。



【注意】

- “カチッ”と音がするまで押し込んでください。
 - シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取り付けできません。
 - 無理な力を加えないでください。
- ※ 破損する恐れがあります。



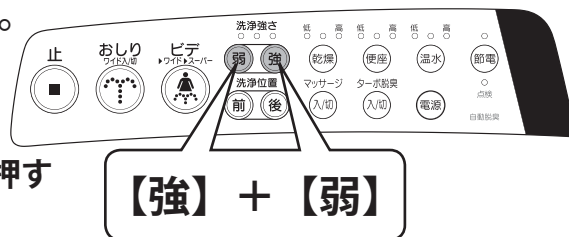
ノズルのお掃除

ノズルの掃除には、以下の方法があります。

- 使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。“ノズル洗浄”
- 日頃の掃除時、ノズルを引き出し、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

- 使用中（着座中）にノズルを洗いたい。
（ノズル洗浄）



1 洗浄強さ【強】と【弱】を同じタイミングで2秒以上押す

※ ノズルが少し伸び出て、約3秒間洗浄します。

❖オートクリーニング機能について

おしり・ビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。

お手入れ時のノズル掃除

- お手入れ時、ノズルを
しっかり掃除したい。

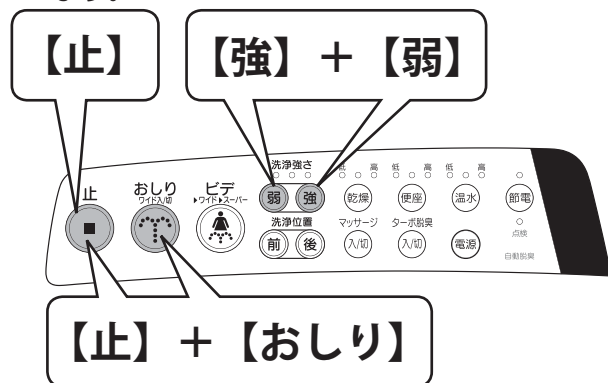
1 【止】と【おしり】を同じタイミングで2秒以上押して、自動洗浄を「切」にする 〈フルオート便器洗浄付の場合〉

※ 「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

3 洗浄強さ【強】と【弱】を同じタイミングで2秒以上押し、ノズルシャッターを開く

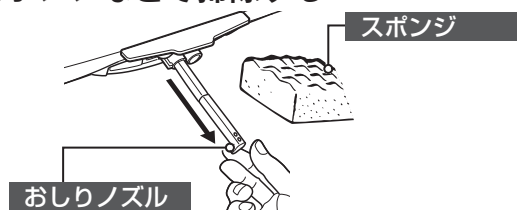
※ ノズルが少し伸び出て、ノズルシャッターを押上げます。このときノズルから約3秒間水が出ます。



4 ノズルを引き出す

※ 少し伸び出たノズルから、おしりノズル、またはビデノズルを手で引き出します。

5 スポンジなどで掃除する



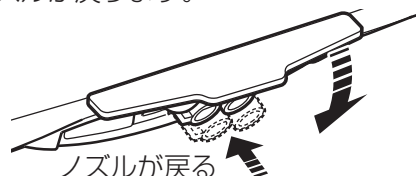
※ 約5分たつと、ノズルは自動で戻ります。
ノズルが戻った後、【強】と【弱】を同じタイミングで2秒以上押すと、再びおしりノズルが伸び出ます。

〔参考〕

- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（37ページ）をご覧ください。

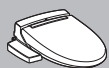
6 【止】を押す

※ ノズルが戻ります。



〔注意〕

- ノズルに強い力をかけないでください。
※ 故障の原因になります。
- ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
※ 故障の原因になります。
- 歯ブラシでこすらないでください。
※ キズが付く原因になります。



ノズルの先端を取り替えたい

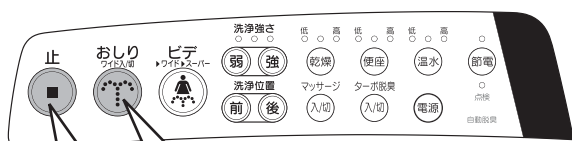
ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。

※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」(P.65 ページ)をご覧ください。

ノズル先端の取外し

- ❶【止】と【おしり】を同じタイミングで2秒以上押して、自動洗浄を「切」にする
〈フルオート便器洗浄付の場合〉**

※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

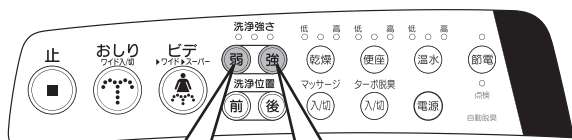


【止】 + 【おしり】

- ❷ 便フタ・便座を開く**

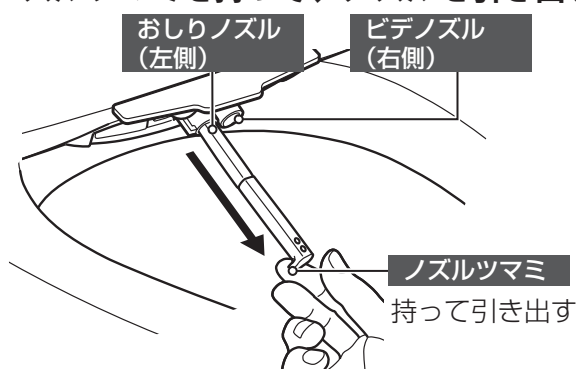
- ❸ 洗浄強さ【強】と【弱】を同じタイミングで2秒以上押し、ノズルシャッターを開く**

※ノズルが少し伸び出て、ノズルシャッターが開きます。このときノズルから約3秒間水が出ます。



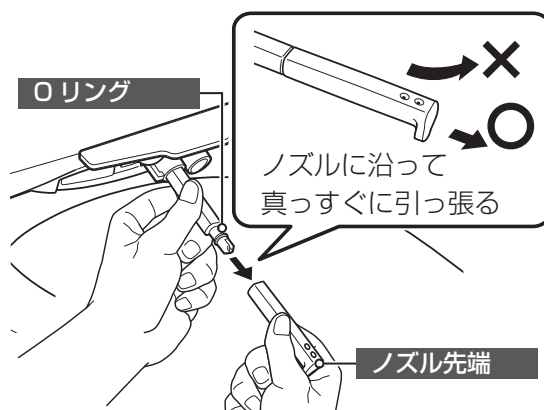
【強】 + 【弱】

- ❹ ノズルツマミを持って、ノズルを引き出す**



- ❺ 引き出したノズル先端を真っすぐに引っ張り、取り外す**

※ノズル先端を引っ張る方向に注意し、ノズルに沿って真っすぐに引っ張ってください。



【注意】

- ノズル先端を取り外す際は、ノズルツマミを持たないでください。
- 取り外す際、陶器部などで、手をぶつけないよう注意してください。
- Oリングにキズを付けないよう注意してください。

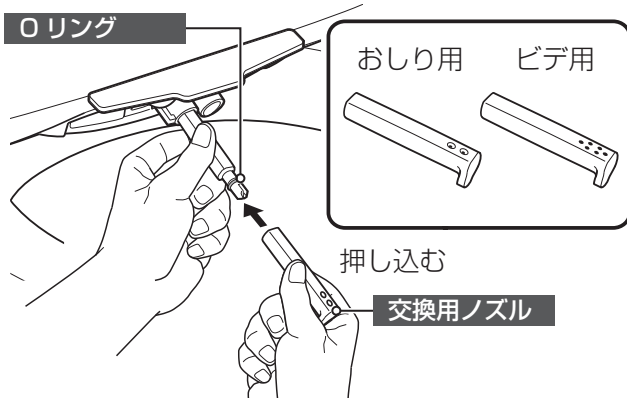
ノズル先端の取付け

※ ノズルシャッターが閉じてしまった場合は、もう一度「ノズル先端の取外し」 3 の操作をしてノズルを出してください。

1 交換用のノズル先端を、ノズルに差し込む

※ ノズルは、自動で本体内に戻る仕様になっています。ノズルが本体内に入ってしまった場合は、ノズル先端をそのまま押し込んで取り付けます。

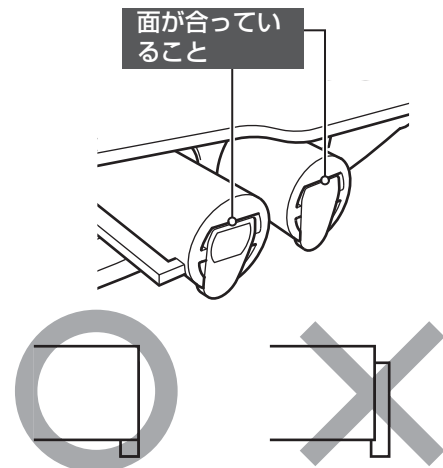
※ ノズル先端が、確実にハマっていることを確認してください。



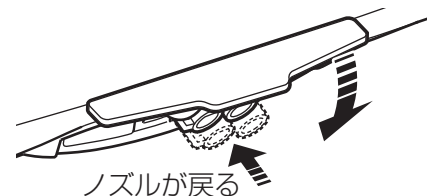
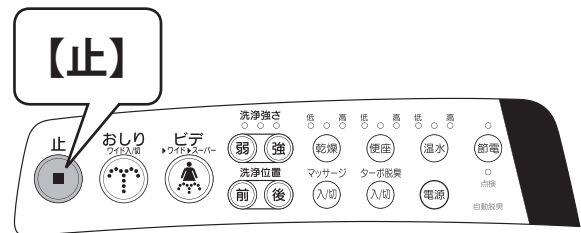
[注意]

- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- Oリングにキズを付けないよう注意してください。

2 「結合部」を確認する



3 【止】を押して、ノズルを戻す



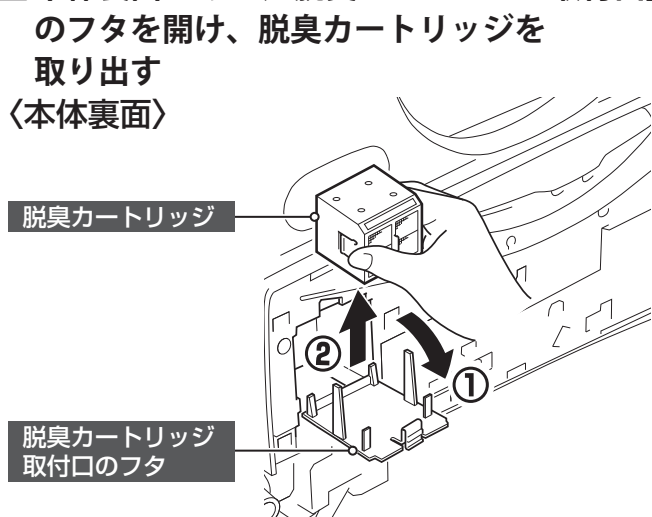


脱臭効果が弱くなったら

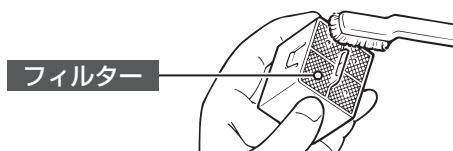
「脱臭カートリッジ」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭カートリッジのお手入れのしかた

- ❶ 電源プラグをコンセントから抜く
- ❷ 本体を便器から外す (☞ 35 ページ)
- ❸ 本体裏面にある、「脱臭カートリッジ取付口」のフタを開け、脱臭カートリッジを取り出す



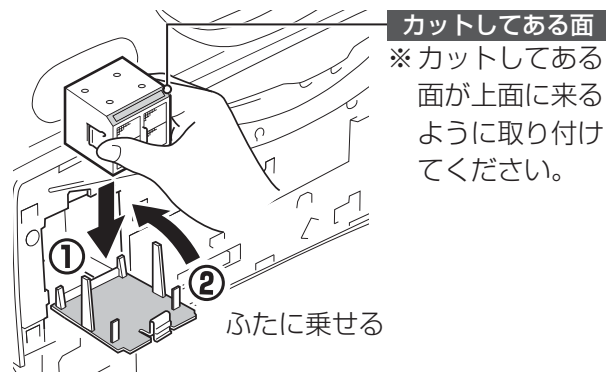
- ❹ フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除く



【注意】

- 「脱臭カートリッジ」本体は水洗いできません。

- ❺ 「脱臭カートリッジ」を組み付ける



- ❻ 本体を便器に取り付ける (☞ 36 ページ)
- ❼ 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注意



脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。
※ ケガの原因になります。



指示実行

脱臭カートリッジ組付け時に、脱臭カートリッジフタと本体の間に指を挟まないように注意する。
※ ケガの原因になります。

- お手入れの後は、電源プラグをコンセントに差し込んで、便座と温水の温度設定が電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

- 再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 11 ページ)

- 「脱臭カートリッジ」のお取替えについて
お手入れしてもまだニオイが気になる場合、「脱臭カートリッジ」の寿命ですので、新品と交換してください。「脱臭カートリッジ」の寿命は、通常使用で約 7 年です。
※ 「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。
※ お取替用の「脱臭カートリッジ」のお求めは、「別売品のご案内」(☞ 65 ページ) をご覧ください。

- 使用開始日の記入
シャワートイレ使用開始日を日付記入欄に記入し、「脱臭カートリッジ」交換目安としてください。また、交換後は新しい「脱臭カートリッジ」にある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年 月 日



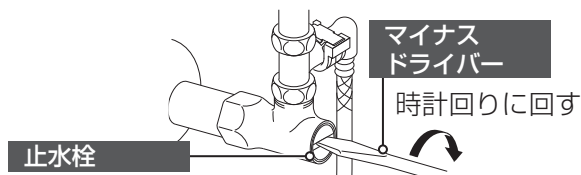
シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

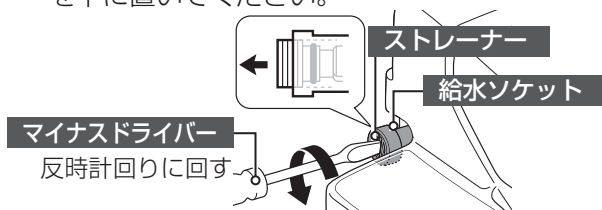
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



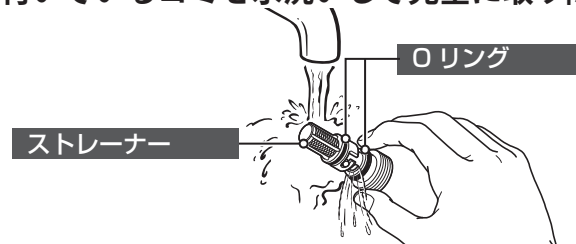
※ストレーナーを外す際

給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

[注意]

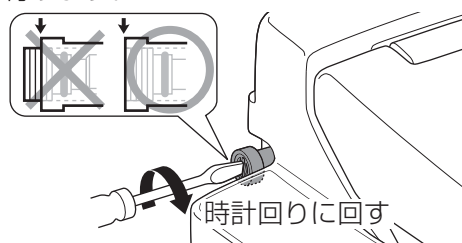
- ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



4 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける

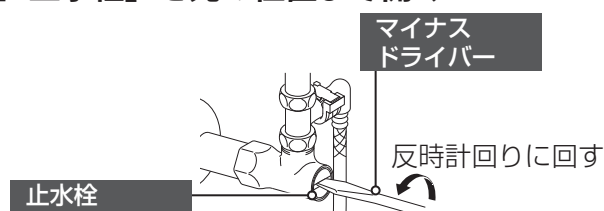
※ ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。



[取付時の注意]

- ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

5 「止水栓」を元の位置まで開く



6 止水栓部から水漏れしていないか確認する

⚠ 注意



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。

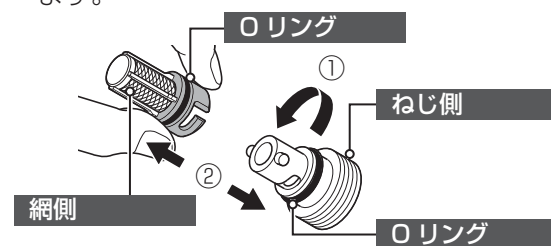
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。

※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。

※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。

※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



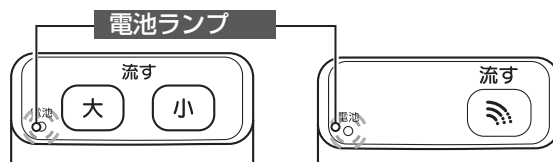


リモコンの電池マークが点滅したら

電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。(☞ 27 ページ) 通常は消灯しています。
(リモコン付の場合)

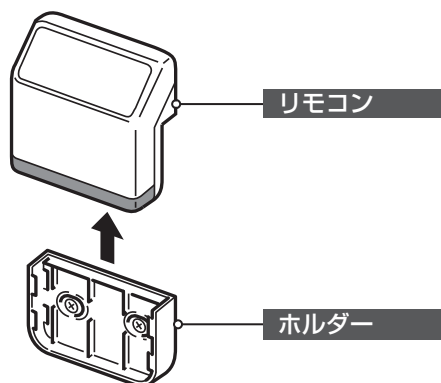
【注意】

- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

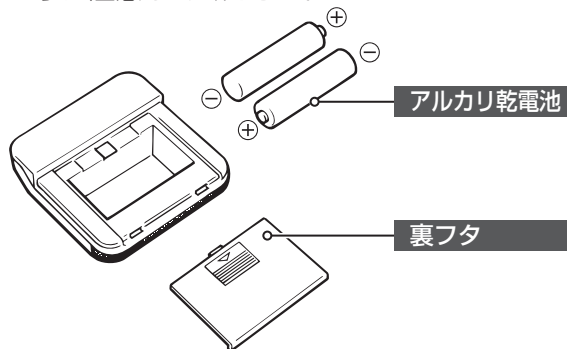


リモコンの電池交換

- 1 「リモコン」を上を持ち上げて、「ホルダー」から外す**



- 2 「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」(1.5V アルカリ単三形、2本)に取り替える**
※ 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。



- 3 「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に上から差し込む**

(参考)

- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色(特に黒っぽい色)などにより、「電池ランプ」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

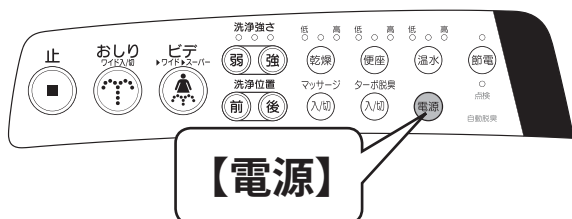


電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

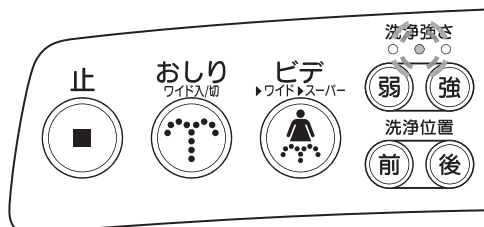
電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながる可能性があります。必ず点検を行ってください。

点検の目安は月に1～2回程度

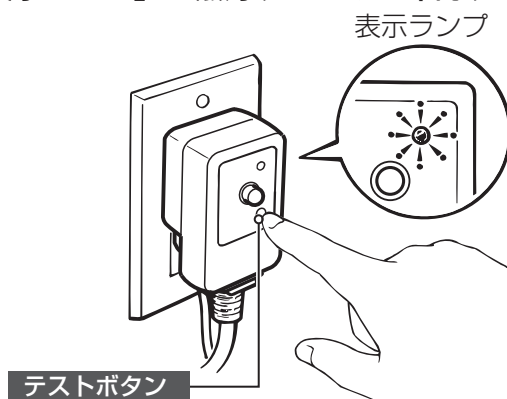
1【電源】を押して「入」にする



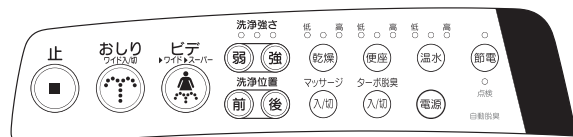
2【洗浄強さ】の表示ランプが点灯していることを確認する



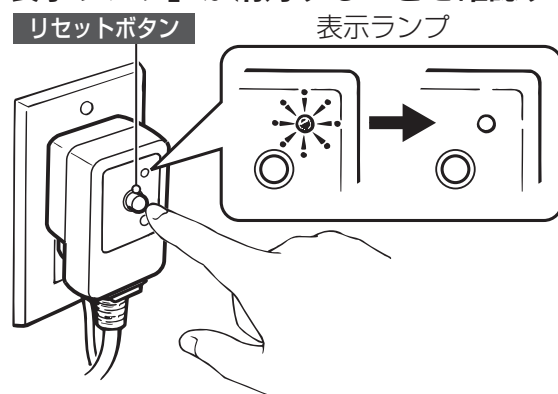
3 電源プラグの「テストボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する



4 すべての表示ランプが消灯することを確認する。



5「リセットボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する



※この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。



定期的な点検のお願い

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

● 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、

取付けの日から 6 年後です。

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。

有料になりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は LIXIL 修理受付センターまでご依頼ください。（下記参照）

LIXIL 修理受付センターにご依頼した場合、点検料金（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
例) 止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉

使用年

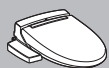
/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換

買換え
ご検討



長期間使用しないときは

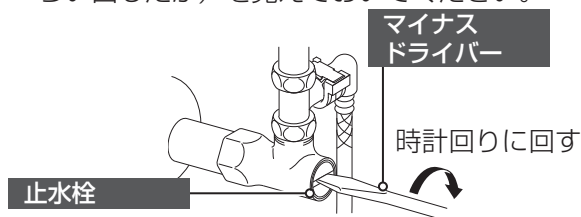
以下の場合には下記の手順にしたがって温水タンクの水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。

- 旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。(水が汚れて詰まりの原因になります。)
- 別荘などで使用しないとき。(人のいない家では予想以上に温度が下がり、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。)

温水タンクの水抜きのしかた

1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。



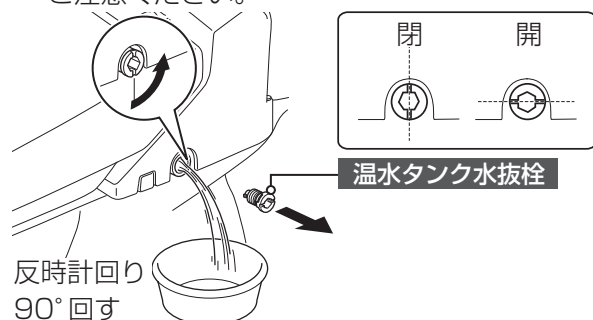
2 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

4 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く

あらかじめ水受け(約 1L 以上入るもの)を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。

※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

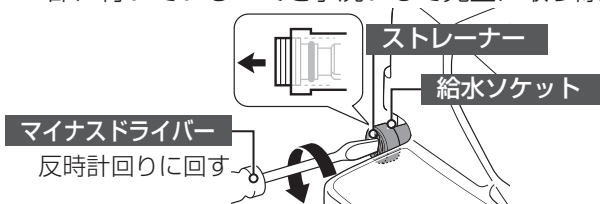


5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6 本体給水ホースから水を抜く

- ① ストレーナーの下に洗面器などを置く
- ② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に除去

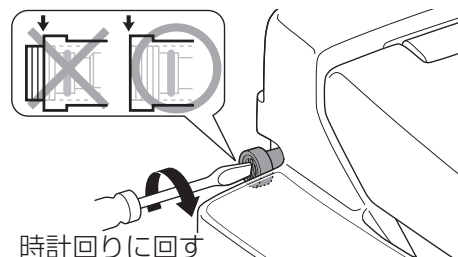


③ シャワートイレ本体を便器から取り外す (☞ 35 ページ)

④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜く



⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける



⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付ける

7 電源プラグをコンセントに差し込む

8 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く

※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

9 約 5 秒後、【止】を押す

10 電源プラグをコンセントから抜く

■ 再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 11 ページ)

⚠ 注意



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと締める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



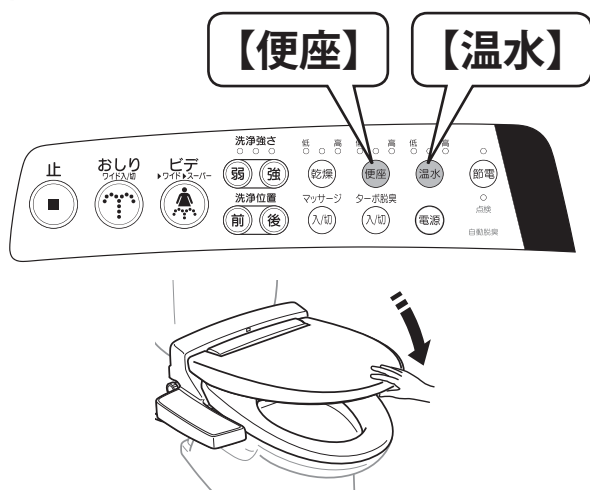
凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

(電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。)

一般的な凍結防止方法

- 1 【便座】を「高」、【温水】を「高」にして、便フタを閉じる



- 2 節電を解除する (20 ページ)

- 3 室内を暖房する

※ もし室内が暖房できない場合は、46 ページ

1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

⚠ 注意

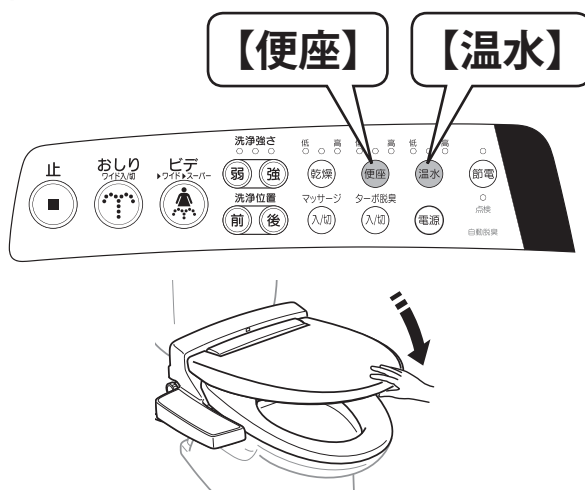


指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

流動式便器の凍結防止方法

- 1 【便座】を「高」、【温水】を「高」にして、便フタを閉じる



- 2 節電を解除する (20 ページ)

- 3 室内を暖房する

※ もし室内が暖房できない場合は、46 ページ

1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

- 4 便器本体の流動ハンドルを操作する

※ ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

詳しくは、便器の取扱説明書をご覧ください。

- 再び使用するとき

必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(11 ページ)

- もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

【注意】

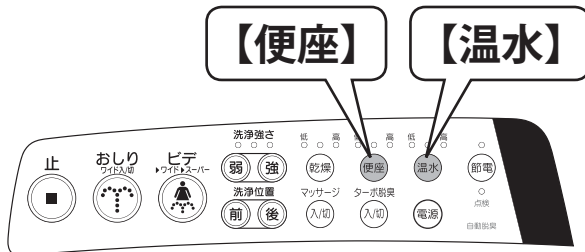
- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※ 給水ホースが破損する恐れがあります。

- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子を見てください。

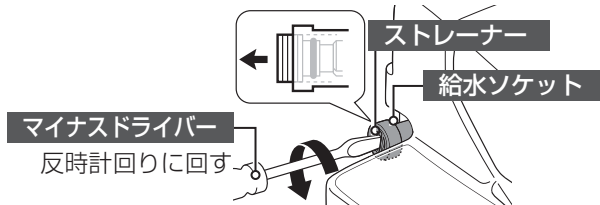
水抜栓による凍結防止方法

- 1** 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして、便フタを閉じる

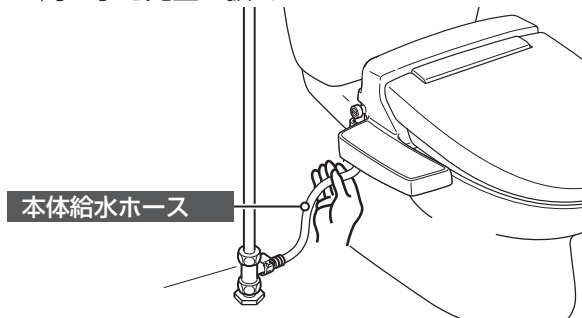


- 2** 節電を解除する (☞ 20 ページ)
3 室内を暖房する
4 水抜栓を操作して、配管内の水を抜く
5 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く
6 本体給水ホースから水を抜く

- ① ストレーナーの下に洗面器などを置く
 ② 給水ソケットを手で支えながら、工具で反時計回りに回して、ストレーナーを外し、ストレーナー部やOリング部についているゴミを水洗いして完全に除去



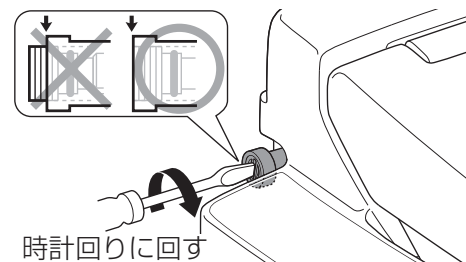
- ③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く



- 7** 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く
 ※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

- 8** 約 5 秒後、【止】を押す

- 9** 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける

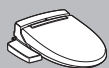


- 再び使用するとき
 必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
 (☞ 11 ページ)

- もし凍結してシャワーが出なくなったら
 万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

【注意】

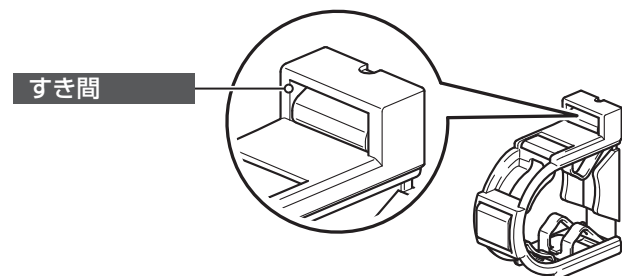
- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
 ※ 給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。



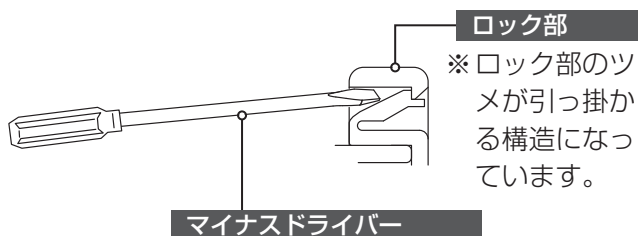
引越しなどで本体を移設するときは

給水ホースの外しかた

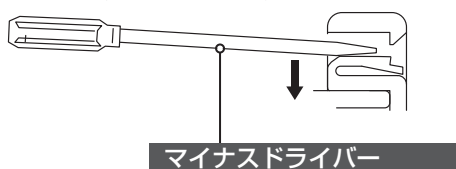
クリップを外してから、給水ホースを外してください。



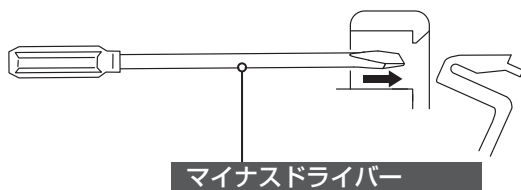
1 すき間にマイナスドライバーを差し込む



2 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す



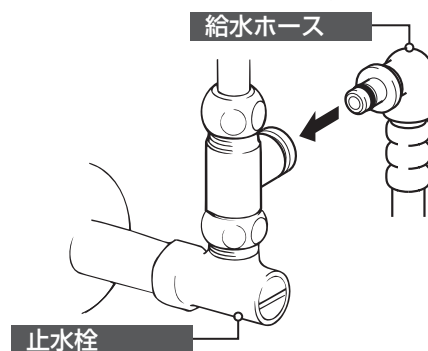
3 「2」の状態から前に押し、ツメを外す



※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行くと、押しやすくなります。

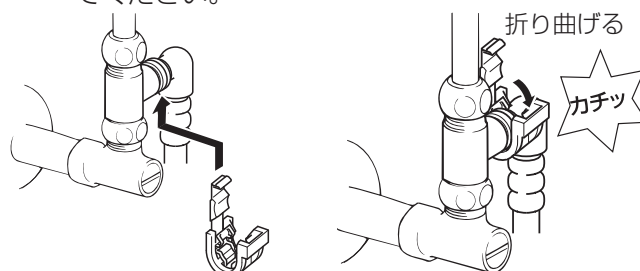
給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける



2 クリップを下図のとおり、“カチッ”と音がするまで取り付ける

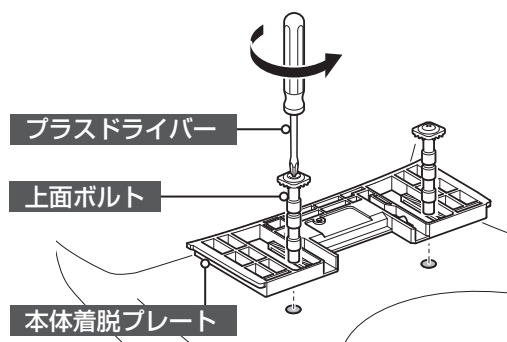
※取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



■シャワートイレ本体を移設のために取り外す場合は

引越しなどでシャワートイレ本体を移設する場合は、以下の手順で取り外してください。

1. 「隠れた部分のお掃除 (35 ページ)」の手順にしたがって、シャワートイレ本体を取り外します。
2. 2 本の上面ボルトを緩めて、上面ボルトを取り外します。
3. 本体着脱プレートを取り外します。





修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
 確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
 保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

全機能

現 象	原 因	処 置	ページ
すべての機能が動作しない	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	—
	電源が「切」になっていませんか。	【電源】を押し、「入」にします。操作部の洗浄強さの表示ランプが点灯していることを確認します。	11
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	11
	漏電していませんか。 (電源プラグの表示ランプが点灯している。)	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、 電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	44
	着座センサー（黒い部分）が汚れていませんか。	着座センサーにゴミや水滴などの汚れが付いていると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。センサー部を柔らかくきれいな布でふいて、汚れを取り除いてください。	—
	着座センサーがはたらいたままの状態になっていませんか。	便座・便フタカバーを浮いた状態で取り付けると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。取り外してご確認ください。	—

おしり洗浄・ビデ洗浄

現 象	原 因	処 置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	11
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	42
	水道圧が低いのですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【強】を押します。	15,16



修理を依頼する前に

おしり洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
シャワーが出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	27
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	27
	温水タンクが満水になっていますか。	ご使用前の準備と確認を行います。	11,12
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水】を押し、適当な温度に調節します。	13
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	—
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	20
シャワーが弱い	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【強】を押します。洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押すと、洗浄強さをさらに 1 段階強くすることができます。ただし、お湯切れが早くなるので注意してください。	22
シャワーがうまくあたらない	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーのあたる位置に違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		—
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていますか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	37
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	40
他の機種と比べ、シャワーが強すぎる／弱すぎる	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーの強さに違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		—

暖房便座

現 象	原 因	処 置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座】を押し、適当な温度に調節します。	13
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	20
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	22
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		29

脱臭

現 象	原 因	処 置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われていませんか。	着座センサーを覆っているものを取り除きます。	12
	着座センサーが汚れていませんか。	センサー部をやわらかい布で水ぶきします。	—
	不適切な便フタカバーを使用していませんか。(着座センサーにカバーが掛かっていませんか。)	便フタカバーを外して使用してください。	—
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	自動脱臭を「入」にセットします。	14
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	—
脱臭効果が弱くなった(ニオイが気になる)	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。	41
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。	41,65

故障かな?と思ったら



修理を依頼する前に

故障かな？と思ったら

温風乾燥〈乾燥付の場合〉

現 象	原 因	処 置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	27
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	27
温風が暖かくない	【乾燥】が適当な温度に調節されていますか。	【乾燥】を押し、適当な温度に調節します。	18
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		—
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、【乾燥】を押します。	18

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

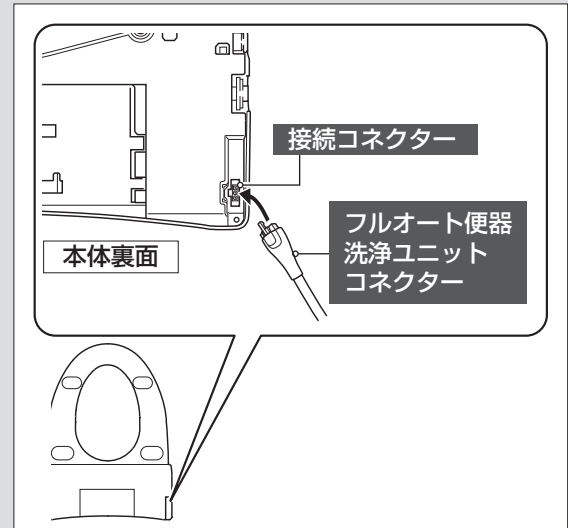
現 象	原 因	処 置	ページ
フルオート便器 洗浄部： ●自動で動かない ●「大」・「小」時、 逆方向に動く ●動作中に異音が する	フルオート便器洗浄が「切」になっていませんか。	フルオート便器洗浄を「入」にします。	19
	フルオート便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。	(次ページ参照)
	フルオート便器洗浄ユニットの設定(モード)が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。	—

■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

「大小洗浄」⇄「大のみ洗浄」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	【止】 + 洗浄強さ【強】 同じタイミングで 6 秒間押す。
「反時計方向」⇄「時計方向」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	【止】 + 【便座】 同じタイミングで 6 秒間押す。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1. 【電源】を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。(☞ 35 ページ)
3. 接続コネクタと、フルオート便器洗浄ユニットのコネクタと接続します。
4. 本体を便器に取り付けます。
(☞ 36 ページ)
5. 【電源】を「入」にします。



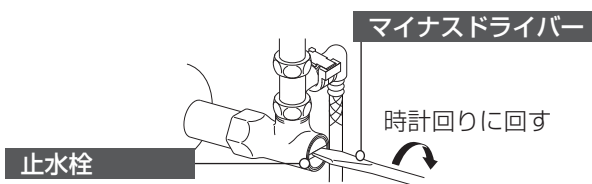
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放しなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

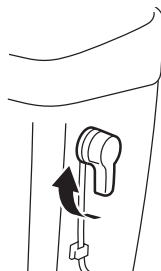
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

※ 洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出するか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。注意ください。

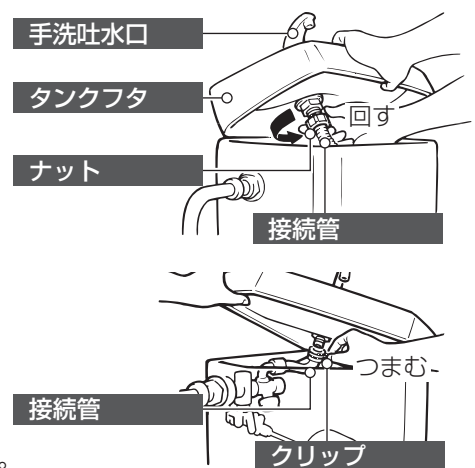


3 タンクフタをロータンクから外す

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。

ナットやクリップをゆるめ、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。

※ ナットやクリップがない場合もあります。



【注意】

- 手洗吐水口付の場合は、フタを外したら再び取り付けまで止水栓を開けないでください。
※ トイレ内をぬらす恐れがあります。



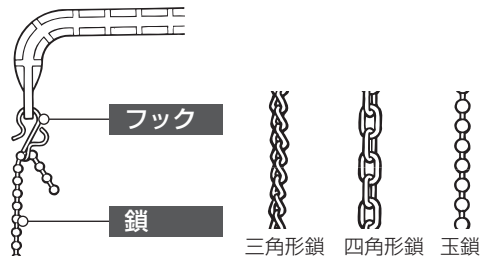
修理を依頼する前に

フロート弁・鎖の調節

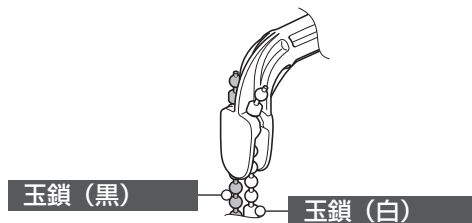
1 タンクフタを外したら、ロータンク内の鎖の形状を確認する

※ 鎖の形状により、調節方法が異なる場合があります。

〈鎖が 1 本の場合〉



〈鎖が 2 本の場合〉



〈鎖が 1 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する

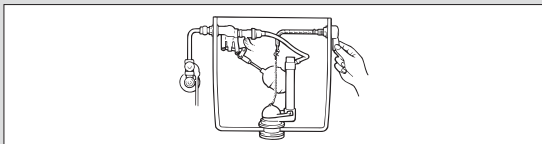
現象	洗浄水が流れない		流れっ放し
	鎖が外れている	鎖がたるんでいる	鎖が張りすぎ
原因	外れている	たるみすぎ	張りすぎ

3 鎖の調節を行う

- ① レバーの先端を垂直にたらししたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

(参考)

- ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。

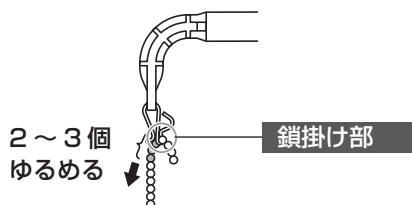


- ② 鎖を合わせた位置からゆるめます。

(参考)

- 鎖の種類によって、ゆるめる個数がちがいます。

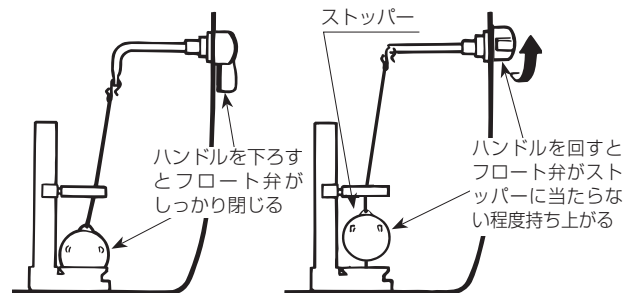
- ・ 三角形鎖、玉鎖 : 2 ~ 3 個程度
- ・ 四角形鎖 : 1 個程度
- ・ ストッパーがないタイプ: 3 ~ 4 個程度



- ③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

4 玉鎖の取付けを確認する

適当な長さ

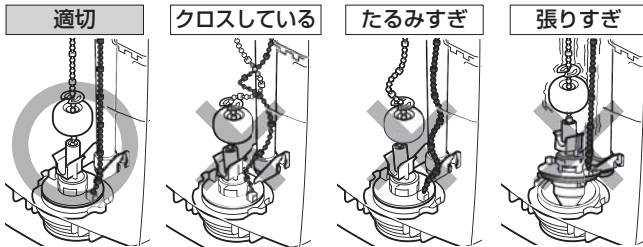


【注意】

- 鎖やレバーが浮玉など他のものに触れたり、引っかかりがないようにしてください。
- 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

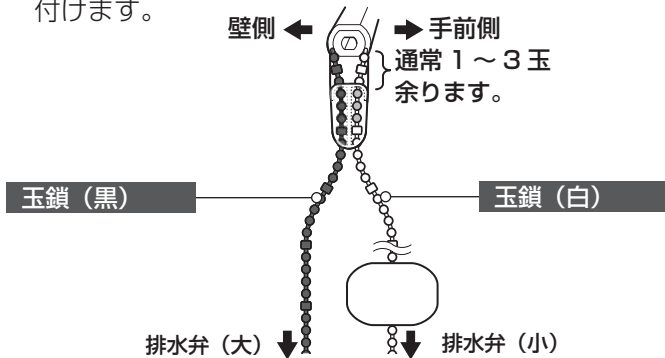
〈鎖が 2 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する



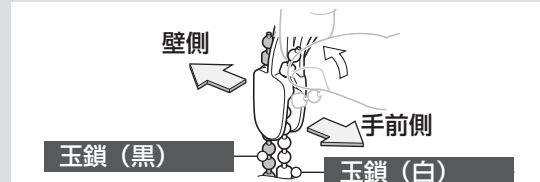
3 鎖の調節を行う

レバーの先端を垂直にたらしのまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、玉鎖をハンドルに取り付けます。



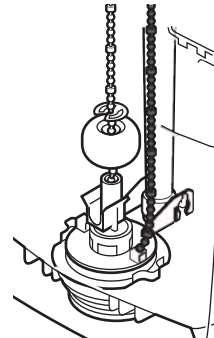
〔注意〕

- 玉鎖は手前が白、壁側が黒になるように取り付けてください。
※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。



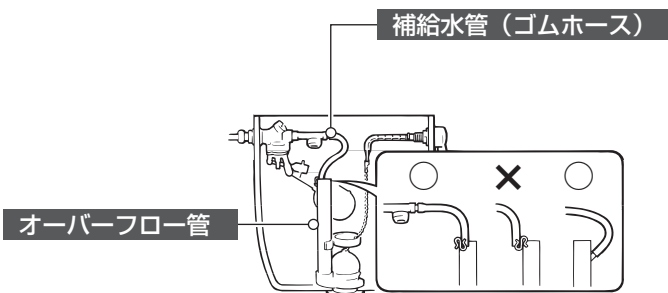
4 玉鎖の取付けを確認する

適当な長さ



タンクフタの取付け

1 補給水管がオーバーフロー管に固定されていることを確認する〈補給水管がある場合〉



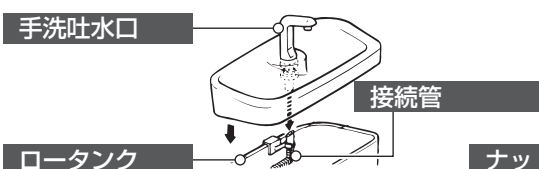
2 タンクフタをのせる

手洗吐水口付の場合は下記をご覧ください。

〈手洗吐水口付の場合〉

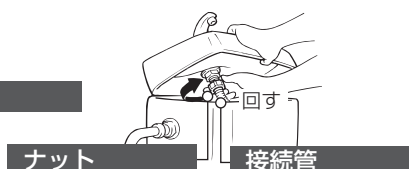
差し込むタイプ

吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。



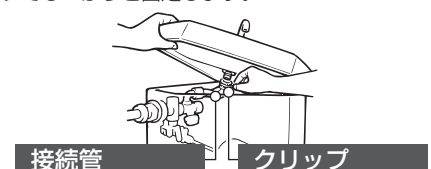
ナットで接続するタイプ

吐水口に接続管のナットを回して、接続します。

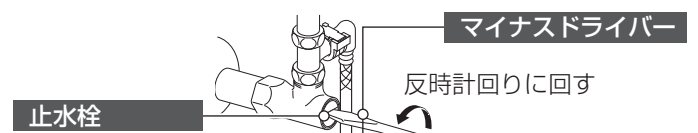


クリップで固定するタイプ

あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。



3 「止水栓」を元の位置まで開く



4 流す【大】を押す

または、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認する

※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合は、再度鎖を調節してください。(☞ 55 ページ)

〔注意〕

- 水がロータンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクフタを取り付け直してください。



修理を依頼する前に

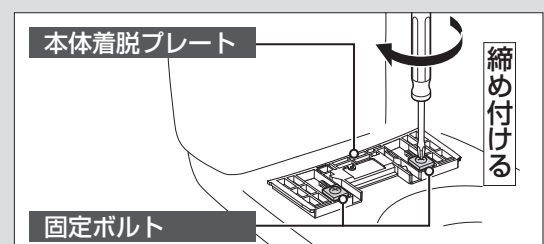
その他

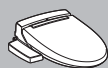
現 象	原 因	処 置	ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	—
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていますか。	本体をしっかり押し込んでください。	36
	本体着脱プレートが緩んでいませんか。	本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直してください。	58
本体から“グググ”と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●おしり洗浄・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		—
温水または便座の表示ランプが点滅している	点滅している機能に不具合が生じています。	故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。	—
点検ランプが点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	59
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		—
便座裏側にある前足の片側が便器についていない	故障ではありません。 前足の片側は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		—

現 象	原 因	処 置	ページ
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	42
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	42
	温水タンク水抜栓が緩んでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めます。	46
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	【おしり】と洗浄強さ【強】、【弱】を同じタイミングで 2 秒以上押します。	26

■本体着脱プレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。(☞ 35 ページ)
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。(☞ 36 ページ)





安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、点検ランプが点灯します。この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

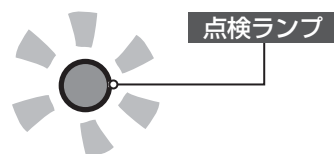
当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。

LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

※詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）



2. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。

下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも
該当する
場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。

電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
 ① 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
 ② 便座が異常に熱いときや冷たいときはありますか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
 ③ 便座の開閉はスムーズですか？便座のガタツキはありませんか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
 ④ 水漏れがありませんか？ 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
 ⑤ 電源コードが熱くなっていますませんか？傷んだり、挟み込んだりしていませんか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
 ⑥ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異臭・異音）していませんか？	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /
 ⑦ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？ はい ☐ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /	/ / / /

※点検目安は当社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。



安全・安心にお使いいただくために

3. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

- 経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしています。

■製造年（本体に西暦4桁で表示してあります。）

 警告	【想定安全使用期間】 10 年 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。
--	---



(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	4 人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1 回 / 日・人、小便男性：4 回 / 日・人、小便女性：4 回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

◇経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。



アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☞ 50 ページ以降)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- コードの傷みやコンセントのガタつき
- コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合・故障において、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品(鎖・フロートゴムなど)は、保証の対象外となります。



分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

シャワートイレ本体や給水部から
漏水した場合、コンセントから
電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※感電・火災・室内浸水の恐れがあります。



指示実行

シャワートイレ本体、
電源プラグやコードが故障
(異音・異臭・発煙・高温・割れ・
漏水)した場合、ただちに
コンセントから電源プラグを
抜き、止水栓を閉め、修理を
依頼し、故障したまま
使用しない。
※感電・火災・漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 連絡していただきたい内容

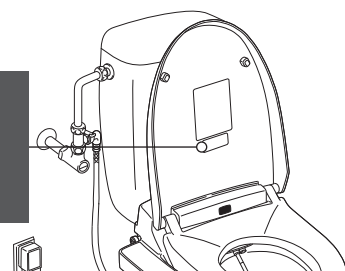
1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体の表示をご覧ください。)
3. お取付日(保証書をご覧ください。)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日

※ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

品名
品番
色番
製造番号





アフターサービス

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。

保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。

※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）・・・6 年ごとに点検（☞ 45 ページ）
- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- 長期間のご使用により点検ランプが点灯したら（☞ 59 ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

7. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>



仕様

グ レ ー ド			CW-KB22 型	CW-KB21 型
			温風乾燥・脱臭	脱臭
定 格 電 源			AC100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力			390W	350W
省 エ ネ 区 分			貯湯式	
年 間 消 費 電 力 量※ 1			164kWh/ 年（節電機能切時：229kWh/ 年）	
使用水道圧 範囲	最低必要圧力		0.06MPa（流動時）	
	最高水圧		0.75MPa（静水圧）	
使用温度範囲			0℃～ 40℃	
商 品 寸 法			幅 474mm ×奥行 554mm ×高さ 149mm	
商 品 質 量			約 4.0Kg	約 3.8Kg
電 源 コ ー ド			有効長さ：1.2m（漏電保護機能、アースコード付）	
機能部	洗 浄	給 水 方 式	水道直結式	
		給湯方式（タンク容量）	貯湯式（0.67L）	
		お し り 吐 水 量	0.27 ～ 0.57L/ 分（3 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき	
		ビ デ 吐 水 量	0.45 ～ 0.65L/ 分（3 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき	
		温 水 温 度	水温・約 32℃～ 40℃（計 6 段階切替） スーパー節電設定時：水温・約 30℃～ 36℃ ワンタッチ節電（8h）設定時：水温	
		ヒ ー タ ー 容 量	300W	
		安 全 装 置	温度ヒューズ・空焚き検知回路・高温感知スイッチ	
	温風乾燥	風 量	0.3m³/ 分	－
		温 風 温 度	室温・約 40℃～ 55℃（計 3 段階切替）	－
		ヒ ー タ ー 容 量	340W	－
		安 全 装 置	温度ヒューズ	－
	暖房便座	表 面 温 度	使用時：室温・約 28℃～ 36℃※2（計 6 段階切替） スーパー節電設定時：室温・約 27℃～ 30℃ ワンタッチ節電（8h）設定時：室温	
		ヒ ー タ ー 容 量	45W	
		安 全 装 置	温度ヒューズ	
	脱 臭	脱 臭 方 式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
		脱 臭 能 力	パワー脱臭時：0.11m³/ 分 フルパワー脱臭時：0.14m³/ 分 ターボ脱臭時：0.17m³/ 分	

※ 1: 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※ 2: 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しないときは便フタを閉じておくこと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

仕様

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。



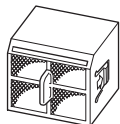
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■ 取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

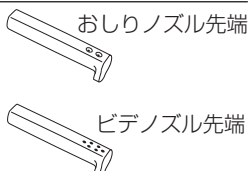
脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。（☞ 41 ページ）



■ おしりノズル先端（品番：CWA-244）

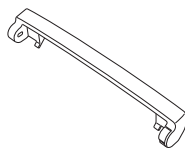
■ ビデノズル先端（品番：CWA-245）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 39 ページ）



■ 便座ストッパー（品番：CWA-41A）

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。

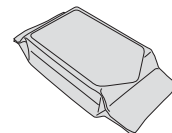


【注意】

- 便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承ください。

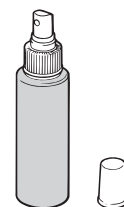
■ トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。（☞ 33,36 ページ）



■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞ 33,36 ページ）



■ ノズルシャッター（品番：CWA-246）

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。（☞ 37 ページ）



別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。

- ・ お電話にてご注文いただく場合
LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

〔ご注文フリーダイヤル〕

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く)

- ・ インターネットにてご注文いただく場合
〔ホームページアドレス〕

<http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html>

(インターネットではお取り扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。)

温水洗浄便座は 電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したまま使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。
また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラッキング(電気の道)ができる。トラッキングの起きた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- ☐ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- ☐ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- ☐ 便座コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこんでいませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 電源コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこんでいませんか？
- ☐ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- ☐ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 温水洗浄便座工業会

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18

後援 経済産業省

<http://www.sanitary-net.com>

安心・安全
に使ってね！



商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400
FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00
土・日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などでは
ご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL :0562-40-4050
FAX:0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00 (365日受付)

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

GCW-1306(14114)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

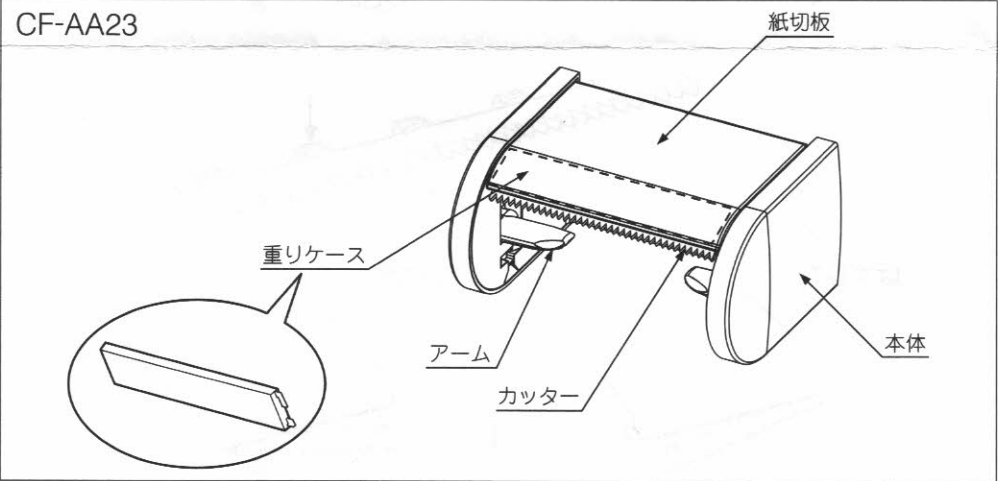
紙巻器

CF-AA23D
CF-AA23P

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

各部の名称



安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

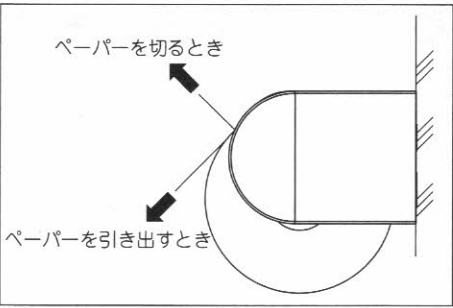
- 注意** ……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ⚠ ……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
- ⊘ ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- 🔧 ……「分解してはいけません！」

注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	⊘
本体の上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。 ※商品が外れたり、割れたりしてケガをする恐れがあります。	⊘
温風機、ドライヤー等で熱を直接あてないでください。 ※変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	⊘
清掃時、シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。 ※変質・変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	⊘
固いものをぶつけないでください。 ※割れて破片によりケガをする恐れがあります。	⊘
重リケースがきちんとはまっていない状態で使用しないでください。 ※重リが外れてケガをする恐れがあります。	⊘
この紙巻器は片手でも紙を切れる仕様になっていますが、紙によっては切れにくいことがあります。その場合は、無理に操作しないでください。 ※紙切板や本体が破損したり、重リケースが外れてケガをする恐れがあります。	⊘

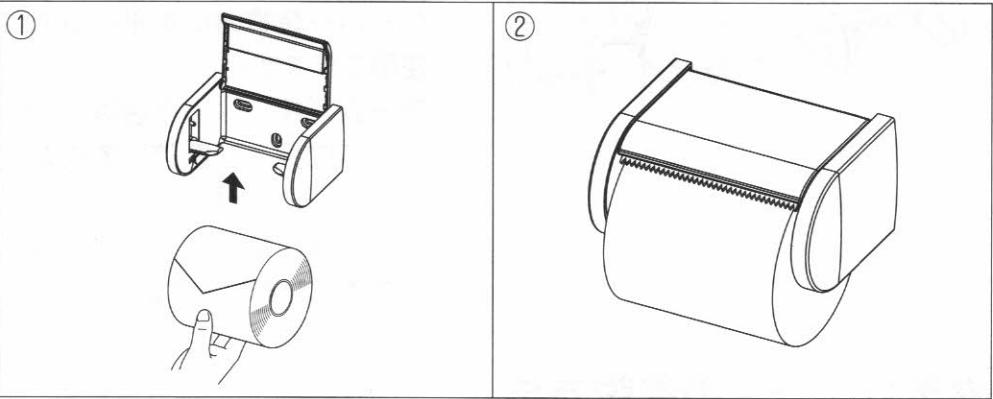
ペーパーの切り方

ペーパーをひっぱり出すときは、斜め下方向へ引き、切るときは、カッターの先端にペーパーの端をひっかけて、ゆっくり斜め上に引いてください。



トイレットペーパーの交換方法

トイレットペーパーを上へ持ち上げてセットします。

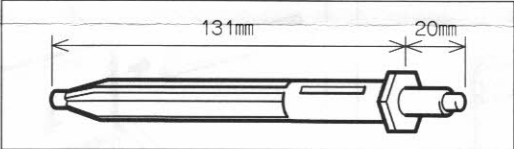


芯無しペーパーの使用方法

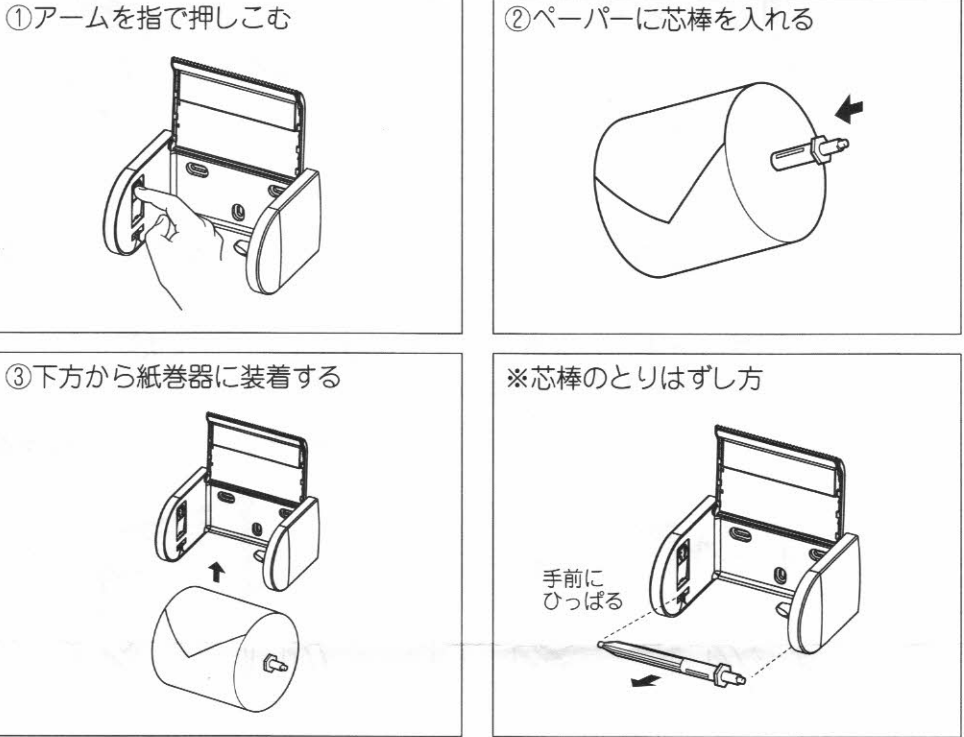
この紙巻器は、別売りの芯棒を取り付けることで、芯無しペーパーも使用することができます。

芯無しペーパー用芯棒品番（別売）：A-4326

アームを紙巻器本体の中に指で押し込みます。芯棒にペーパーを取り付け、紙巻器の下から溝に沿ってペーパーをカチッと手ごたえがあるまで挿入してください。



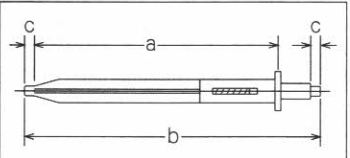
●伸縮寸法 131～151mm



※市販の芯無しペーパー用芯棒も使えます

下記の条件を満たす市販の芯無しペーパー用芯棒も同様にお使いいただけます。

- 伸縮寸法 { 最小寸法が131mm以下 ……a
最大寸法が137mm以上 ……b
- 端部形状：φ5mm以下の直線部が両端に各3mm以上あること ……c



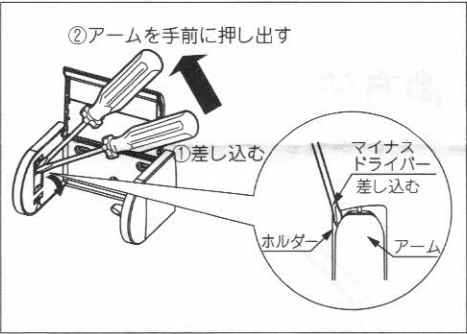
また、上記の条件を満たす芯棒でも場合によっては装着できないことがありますので、無理に取り付けしないでください。

※紙巻器が破損し、ケガをする恐れがあります。

●アームの復帰のさせ方

芯無しペーパーをお使いになっいて、芯あり(穴あり)ペーパーを使用したくなった場合、以下の方法で押し込んだアームを復帰させることができます。

- ①マイナスドライバーの先端をアームとホルダーの隙間に差し込みます。
- ②マイナスドライバーの先端でアームを後方から手前方向に押し出してください。



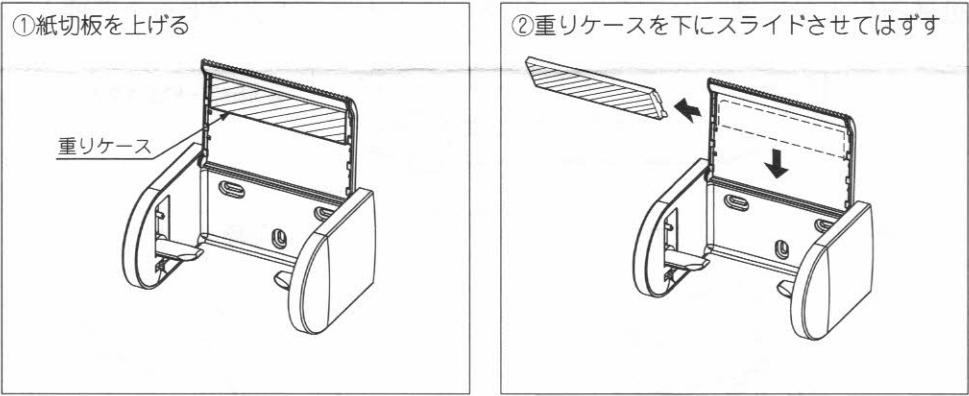
注) 芯無しペーパーをご使用後、アームを元に戻したときに、アームに癖がついていて完全に元の状態に戻らないことがあります。ペーパー装着時に水平になれば使用できます。アームが戻らない場合は、アームを下に押えて調整してください。ペーパーが傾いたり、ペーパーが浮いたりして使いにくくなる恐れがあります。

●重リケースの着脱方法

この紙巻器は片手で紙を切れるように紙切板で紙を加圧しています。ご使用になる紙の質によっては、紙がひっかって切りづらい等の不便が発生することがありますが、紙切板の裏に設置された「重リケース」で調整することができます。

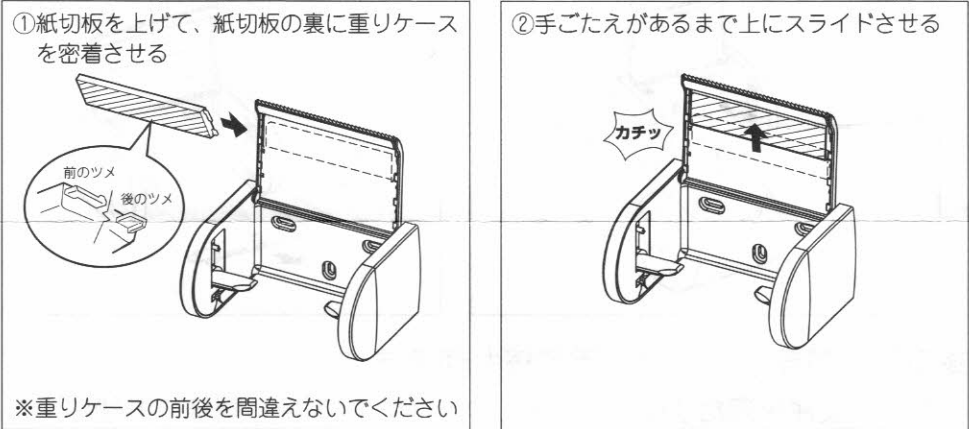
(1)重リケースのはずし方

紙切板を上へ上げて、重リケースを下にスライドさせてはずします。



(2)重リケースのつけ方

紙切板を上げて裏に重リケースをぴったりつけ、上にスライドして取り付けます。このとき、カチッと手ごたえがあるまでスライドさせてください。※取付けが不完全だと使用中に重リケースが脱落する可能性があります。



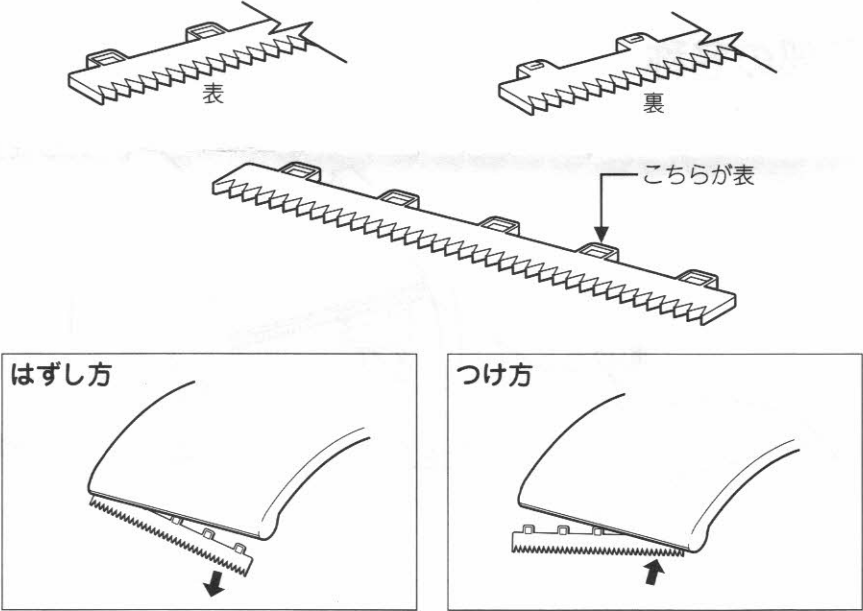
注) 重リケースの装着位置は3段階で調整できます。上のイラストは先端の位置に重リケースを取付けた例です。
例) ペーパーがちぎれて引き出しにくいときは、重リケースを奥に取り付けます
市販のロールペーパーの中には切れにくいものもありますのでご了承ください。
ロールペーパーはお住まいの地域によって多種多様にありますので、いくつかの種類をお試しの上、切れやすいものを選択してお使いください。

●カッターの交換方法

紙の切れ味が悪くなってきましたら、カッター部を交換してください。

カッター部品品番(別売): 75-1407

カッター部は手前に引っ張ると外れます。新しいカッターを装着する場合は、表裏をよくご確認の上、手前から差し込んでください。



※カッターを差し込んだ後、軽く引っ張ってみて容易に取れないことを確認してください。

●別売品

品 名	品 番	入 数	材 質
芯無しペーパー用芯棒	A-4326	1	本体: ポリスチレン樹脂 スプリング: ステンレス
カッター	75-1407	1	オレフィンエラストマー

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと水ぶきをした後、乾いた布で水分をふきとってください。
- 商品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤

特に、壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐに十分な水ぶきをするのを忘れないでください。

- CF-A23Dは抗菌製品技術協議会のSIAAマークに適合したKILAMIC抗菌仕様商品です。

SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

●抗菌部位

品 番	部 位	使用抗菌剤	加工方法	加工部位
CF-AA23D	紙切板	銀等無機抗菌剤	練り込み	全体

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。



銀等無機抗菌剤
CF-A23Dの場合
本体・紙切板・練り込み・全体

LIXIL

INAX

保証書付

(裏表紙)

W 節水 洋風タンク密結便器

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき

誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえと働き	1
安全上のご注意	2
ご使用方法	6
ご使用上の注意	7
お手入れ方法	11
長期間使用しない場合	14
冬期凍結の恐れがある場合	15
修理を依頼される前に	17
アフターサービスについて	27
別売品のご案内	29

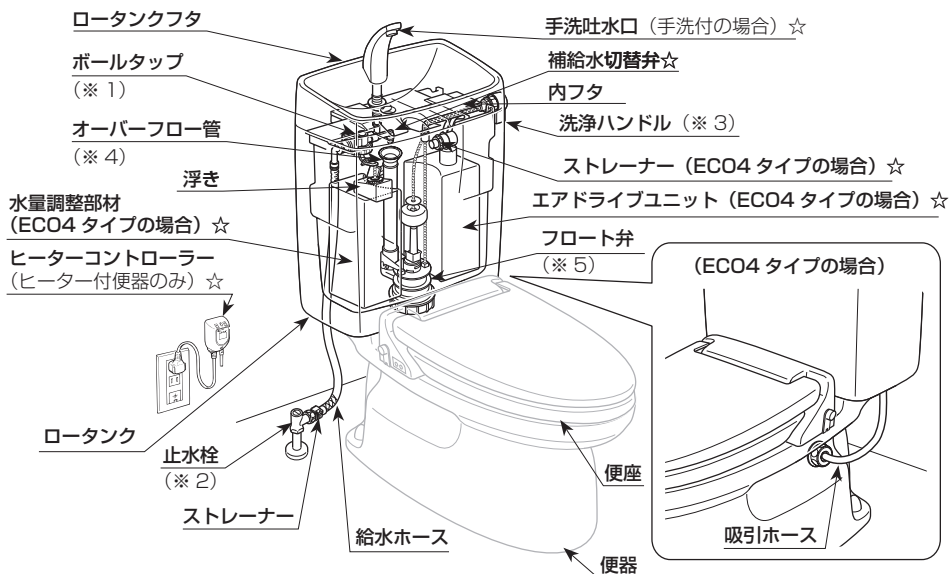


袋: PE

各部のなまえと働き

■全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



(※ 1) ボールタップ
浮きの働きにより、一回分の洗浄水をロータンク内に供給する弁です。

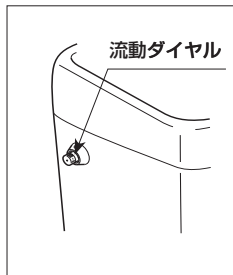
(※ 2) 止水栓
水道の水はここを通過して、ロータンク内へ給水されます。止水栓はこの水を止めたり、水量調節を行うための弁です。

(※ 3) 洗浄ハンドル
フロート弁を持ち上げてロータンク内の洗浄水を便器に流出させるためのハンドルです。

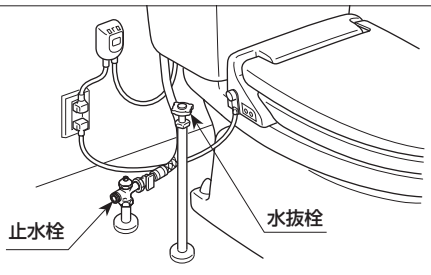
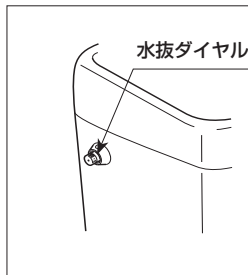
(※ 4) オーバーフロー管
万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、ロータンクから水があふれないように、便器の方へ流す役目をします。

(※ 5) フロート弁
洗浄ハンドル操作により、ロータンク内の水を便器に排出させる弁です。

流動式の場合



水抜式の場合



※水抜栓は当社製品ではありません。

安全上のご注意 (お使いになる前に必ずお読みください。)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。



警告

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



水場使用禁止





警告

修理技術者以外の方は、ヒーターコントローラーなどの電気部品を分解したり修理・改造は行わないでください。



分解禁止

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ガタついているコンセントは使用しないでください。



禁止

※ 感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。



ぬれ手禁止

※感電の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

- ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。



指示実行

※ 感電・火災の原因になります。

- ロータンクおよび給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源プラグやヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。



水かけ禁止

※ 感電・火災の恐れがあります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



禁止

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

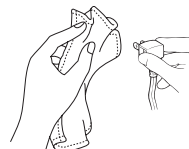
電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。



指示実行

※ホコリが火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。



指示実行

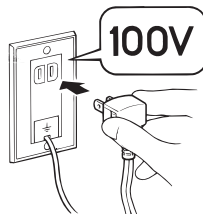
※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。

警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。

※ 火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



注意

電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



便フタやカバーの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。



タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※ 火災の原因になります。



火気禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

注意

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

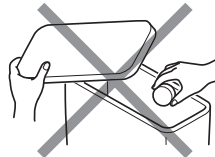
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。



接触禁止

ロータンクに芳香洗剤や薬品、石けん等を置いたり、タンク内部に入れたりしないでください。また清掃時に、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しないでください。

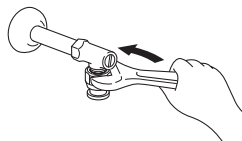
※ 漏水や止水不良、作動不良の原因になります。



禁止

給水ホースの接続は確実に行ってください。

※ 袋ナットの締め付けが不十分だと漏水の原因になります。



指示実行

手洗付の場合、ロータンクフタ、手洗接続管を外した際は、元の接続状態に戻してください。

※ 正しく接続されていないと漏水の原因となります。



指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行ってください。

※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。



指示実行

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

ご使用方法

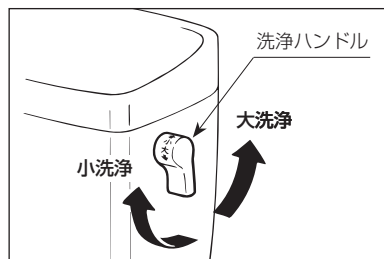
便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

■便器鉢内の洗浄のしかた

用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

小洗浄： 小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

大洗浄： 大用の場合にお使いください。



注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので大洗浄の方でご使用ください。
- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。
- 洗浄水量（1回の便器洗浄で使用する水量）は、流動圧 0.2MPa の場合のものです（一部商品を除く）。
- 洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。

■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

バケツ 1 杯（5～6L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3～4L の水を注いでください。

※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。

※ 小洗浄も同じように流してください。

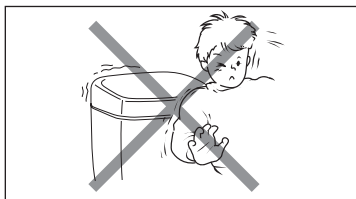
ご使用上の注意

■故障を起こさないために守ってください

注意

- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。

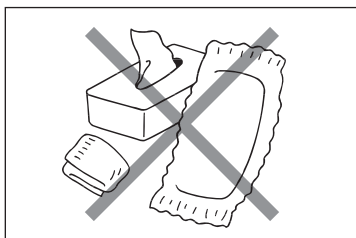
※ 衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。



- 便器には、新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等は流さないでください。

※ 便器が詰まり污水があふれる原因になります。

必ずトイレットペーパーをご使用ください。



- クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

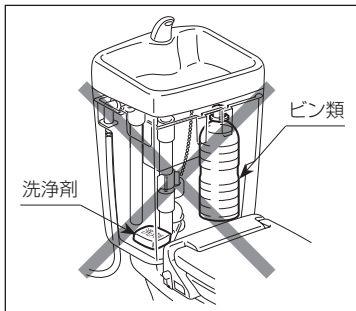
※ 便器が詰まり、污水があふれる原因になります。



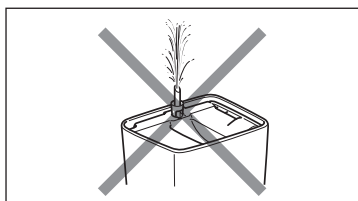
- ロータンク内にビンやレンガ、洗剤などの異物を入れないでください。

※ 内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

※ 水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし污水があふれる原因になります。



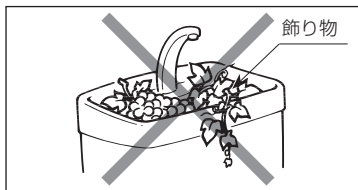
- 手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。
※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。



- 直射日光が当たらないようにしてください。
※直射日光により樹脂部（便座・便フタ）が変色することがあります。

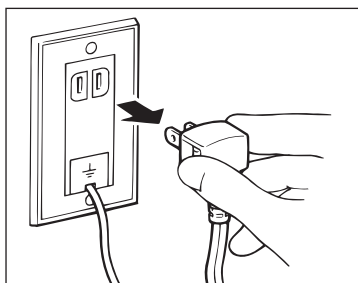


- 手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。



- 雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



- 樹脂部にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。



- 便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。



- 万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
※ 詰まったまま水を流すと、便器から汚水があふれます。



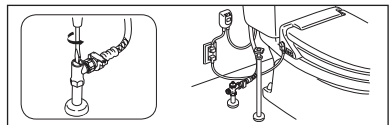
- 汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1回の洗浄で完全に流れきれずに残ることがあります。
大洗浄で1度に流すトイレットペーパーの量は5m程度を目安にしてください。便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
なおトイレットペーパーの量についてはJISの規格を参考にしております。

- トイレットペーパーの使用量が多いときは排水路でサイホン現象が起き、便器に溜まる水の量が少なくなる場合があります。このようなときは再度洗浄して便器に水を溜めてください。
※ 便器の溜水が少ないと、鉢汚れや排水不良、臭気の原因になります。

- バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。
完全に流せない場合は便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

- フタおよび便座の開閉は静かに行い、衝撃を加えないでください。
※ 衝撃で破損する原因になります。

- 水抜き式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。
※ 凍結の恐れがあります。



- 手洗付の場合、手洗鉢にトイレットペーパーやゴミを流さないください。また、手洗鉢でぞうきんやモップを洗わないでください。
※ 漏水や止水不良の原因になります。

- 手洗無（樹脂タンク）の場合、重量物や先のとがった物を置いたり、落としたりしないでください。
※ 傷つきや破損の原因になります。



■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。

※結露水は床のしみや破損の原因になります。

※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

■ KILAMIC 抗菌商品についての注意

- 1.KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- 2.KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

【便器、タンクで使用している抗菌剤について】

部位	添加物質名
陶器	銀
洗浄ハンドル (メッキハンドル除く)	酸化亜鉛

お手入れ方法

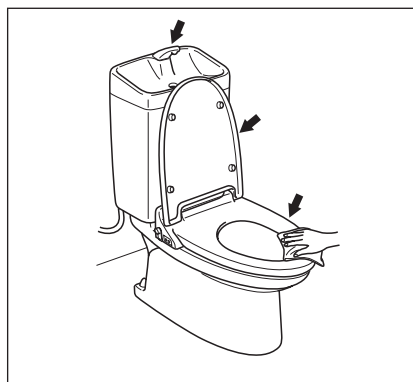
便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。



■便座・便フタ・手洗吐水口等のお手入れ（樹脂部）

- 便座、便フタ、手洗吐水口等は樹脂製です。柔らかい布でからぶきをしてください。
- 頑固な汚れには、シャワートイレお掃除クリーナー・おそうじティッシュ（別売品）をお使いください。もしくは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後すぐに水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。



注意

表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。

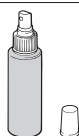
- クレンザー、磨き粉
- 中性洗剤以外の洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸、アルカリ、熱湯
- 金属たわし、ナイロンたわし、ブラシ等

■シャワートイレお掃除クリーナー

(品番：CWA-20)

トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂をお手入れすると割れて事故につながる場合があります。便座や便フタの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。

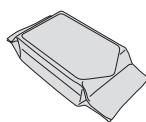
(購入方法は、30 ページ “別売品の購入方法” をご覧ください。)



シャワートイレお掃除
クリーナー

■おそうじティッシュ

(品番：CWA-36-4SET)



おそうじティッシュ

●ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

電源プラグやヒーターコン
ローラーに水や洗剤をかけな
いください。



水かけ禁止

※ 感電・火災の恐れがあります。

〈100V 電源使用の場合〉

注意

電源プラグやヒーターコン
ローラーに、便座に使用できる
洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅
用洗剤、漂白剤、ベンジン、シ
ンナー、クレンザー、クレゾール) は使
用しないでください。



禁止

※プラスチック部が割れてケガの原因になり
ます。

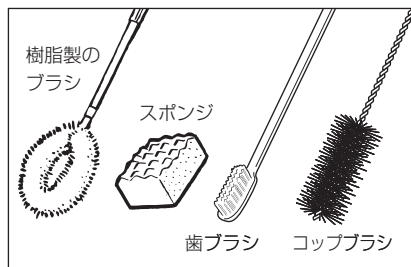
〈100V 電源使用の場合〉



■便器のお手入れ（陶器部）

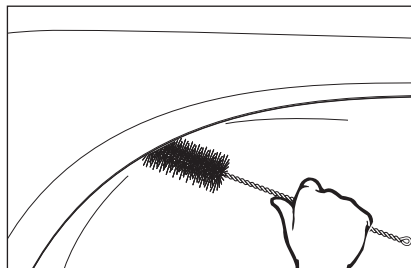
樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

リム奥の狭い部分の汚れについては、歯ブラシやコップブラシ等を使って掃除してください。



注意

- 熱湯はお使いにならないでください。
※便器が破損することがあります。
- ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。
※表面が侵されます。



■止水栓のお手入れ（メッキ部）

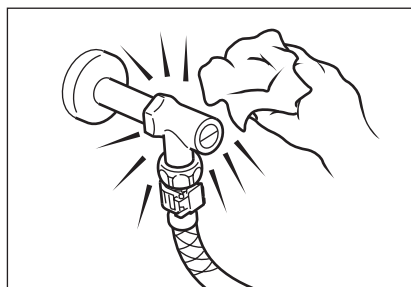
- 汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

注意

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。

※酸性洗剤はメッキを侵します。

- 表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤



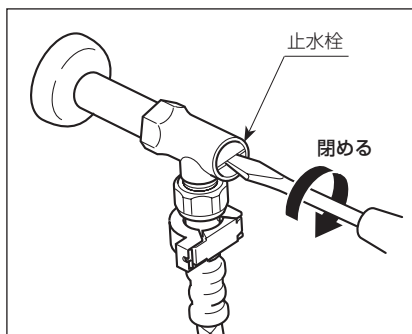
長期間使用しない場合

旅行などで長い間使用しないときは万一の故障のために以下の操作を行ってください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、ロータンクへの給水を止めます。
再使用時は全開にします。
水抜き式便器をお使いの方は水抜き栓を操作してロータンクへの給水を止めます。

注意

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず全開にして、1/4 回転程度戻してください。



2. 凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。また、便器内にたまっている水をすべて抜き、凍結しないようにしてください。水を抜いた後に、不凍液を入れる、もしくはバスタオルなどを詰めて、排水口をふさいでください。

※ 不凍液はそのまま流さないでください。

(不凍液は、便器ご使用開始前に回収し、廃棄処理してください。浄化槽への悪影響や、環境汚染などの恐れがあります。)

※ バスタオルなどでふさぐ場合は、大きな布でしっかりふさいでください。

(下水配管から、異臭や害虫などが侵入する恐れがあります。)

※ バスタオルなどを流さないでください。

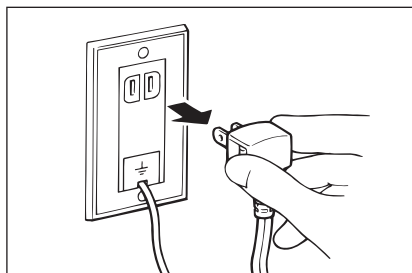
(排水管つまりの原因となります。)

※ 水抜き式便器の場合は 15 ページを参照してください。

※ 水抜き式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

3. ヒーター付便器の場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

※ 万一の故障にも安心です。



冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。

※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

■ 凍結防止方法

●標準式便器の場合

室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

●流動式便器の場合

1. 流動ダイヤルを時計回りに回します。

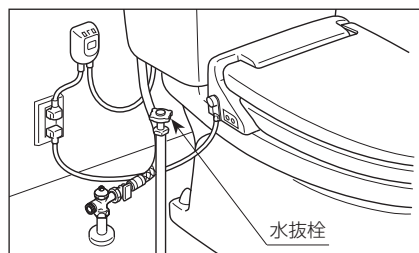
※ 操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。流動状態を解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに空回しするまで回して戻します。



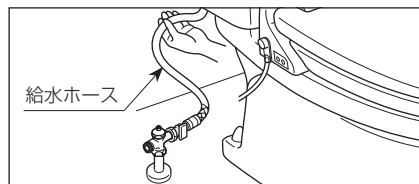
●水抜き式便器の場合

1. 室内を暖房し、水抜き栓を操作してロータンクへの給水を止めます。このとき止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておきます。

(ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。)



2. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

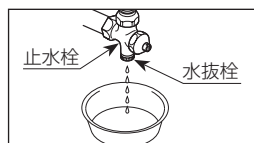


注意

壁給水の場合は、止水栓に付いた水抜き栓を操作してホース内の水を抜きます。

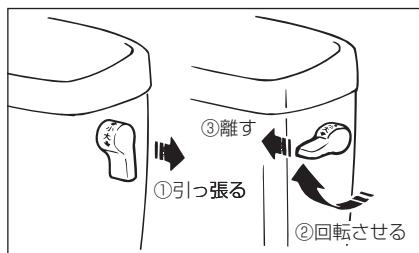
水抜き操作後、止水栓の水抜き栓はしっかり閉めてください。

※漏水により、家財などを濡らす恐れがあります。



3. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。

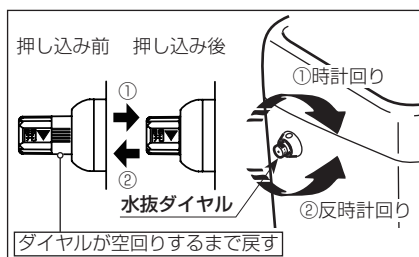
- ①洗浄ハンドルを横に引っ張ります。
- ②手前に回します。
- ③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
- ④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。



4. 水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻します。

※この操作により、ロータンク内の水がより抜けやすくなります。

5. 再使用時は、水抜栓を操作してロータンクへの給水を行ってください。

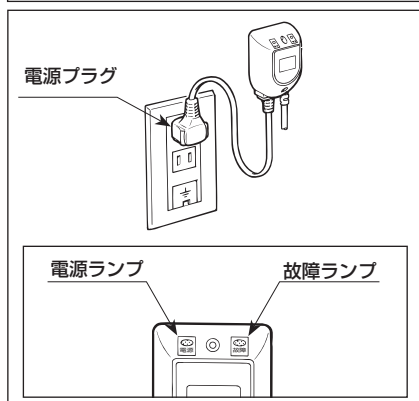


●ヒーター付便器の場合

ヒーター付便器の場合は、さらにヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。



■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- 流動式便器の場合——— 10℃以上
- ヒーター水抜併用式便器の場合——— 15℃以上
- 上記以外の便器——— 0℃以上

※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

修理を依頼される前に

■故障かなと思ったら

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。(☞ 9、19 ページ参照)
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。(☞ 9 ページ参照)
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☞ 19 ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。(☞ 19 ページ参照)
	〈ECO4 タイプの場合〉 エアドライブユニットのストレーナーが目詰まりしていませんか。	エアドライブユニットのストレーナーを掃除します。(☞ 23 ページ参照)
	〈ECO4 タイプの場合〉 吸引ホースが抜けていませんか。	吸引ホースを接続します。
	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(☞ 6 ページ参照) 1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。(☞ 9 ページ参照)
便器内に水が流れ続ける (水が止まらない)	〈流動式便器の場合〉 流動ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤルを回して流動を解除します。(☞ 15 ページ参照)
	補給水ではありませんか。	洗浄してから 5 分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確保するための補給水です。
	タンク内の水位が調節されていますか。	5 分以上洗浄水が止まらない場合、「■便器洗浄水がなかなか止まらない場合」の確認を行います。(☞ 24 ページ参照)
ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふきとってください。また、換気を十分にしてください。(☞ 10 ページ参照)
床が濡れている (便器表面や止水栓は濡れていない)	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子を見てください。それでも床が濡れている場合は、修理を依頼してください。

--	--	--

現象	原因	処置
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、 空気も同時に巻き込むためゴボ ゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気 管等を設置することで軽減できます。工事 された業者さまへご相談ください。
便器洗浄後に床下の排水 管から「ポタポタ」 と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。	
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。	
洗浄時に、洗浄した 水がはねる	便器は勢よく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水 がぶつかり水がはねる場合があります。	
小便がはね返る	洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことが あります。便器奥側にねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽 減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、は ね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いて いただければ、はね返りは軽減できます。	
用便時に水が はね返る (おつり)	便器に水たまりがあることが原因 ですが、下水からの臭気を遮 断したり、汚物の付着を防ぐた めの大切な役割があるため構造 上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせ てご使用いただければ軽減できます。
便器（陶器）に ピンク色の汚れ がある	空気中のバクテリアが、便器に付 着した汚れを栄養に繁殖したも のです。バクテリアは水中や空 気に分布しており、健康な人に 害を及ぼす細菌ではありません。	中性洗剤を使用して掃除してください。 繁殖しやすいためこまめなお手入れをおす めします。漂白剤を使うと除菌効果があ ります。
便器（陶器）の中に黒い 粗状の付着物ができる 便器の中に、赤い サビの付着物がある	給水管のサビが洗浄時に流れて 便器に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程 度付着した部分にあてて放置した後、布で ふきとってください。
便器（陶器）を掃除 していたらスジ状の 金属キズがついた （メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器 よりも金属が柔らかいためスジ 状の線がつくことがあります。 キズではなく便器表面に付いて いる汚れと同じです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度 付着した部分にあてて放置した後、布でふき とってください。 応急処置として、市販のけんま材入りトイレ 用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。 ※ただし便器（陶器）のうわぐすりを削りとっ てしまうため、強くこすらないでください。 また、継続的な使用は控えてください。
子供の便が付着して 落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面 の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	

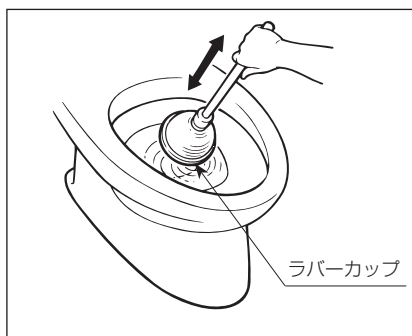
--	--

現象	原因	処置
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 (☞ 19 ページ参照)
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約 1L～2L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご使用ください。	

■便器が詰まった場合

市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。

便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。



■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。

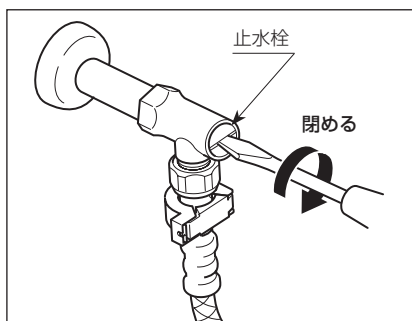
注意

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷を付ける恐れがあります。

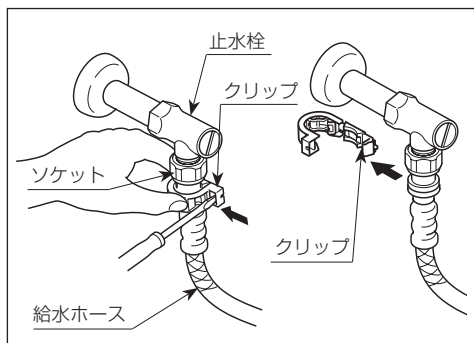
以下の点に注意してください。

※ マイナス溝にあうマイナスドライバーを使用してください。

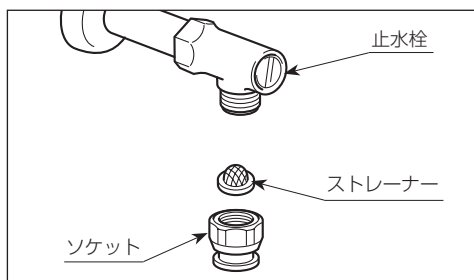
※ 必要以上に閉めすぎないでください。



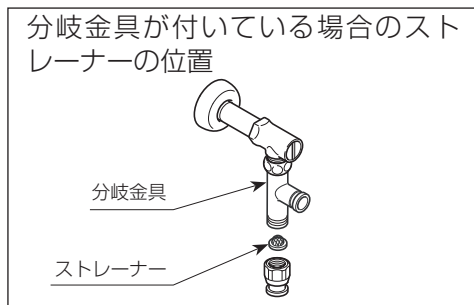
2. 給水ホースとソケットを固定しているクリップを図のようにマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。
このとき給水ホース内の水が出ますので、雑巾などを用意しておいてください。



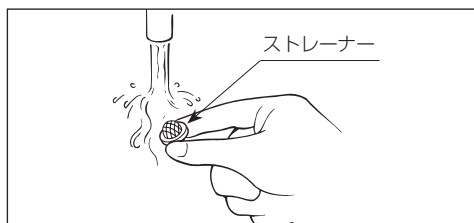
3. ソケットを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。



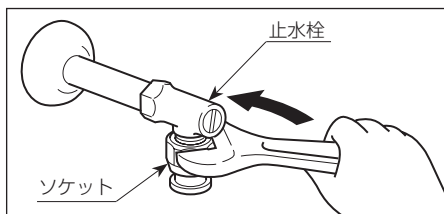
分岐金具が付いている場合のストレーナーの位置



4. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。
5. ストレーナーをソケットに取り付けます。



6. 止水栓にソケットを取り付けます。
このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。

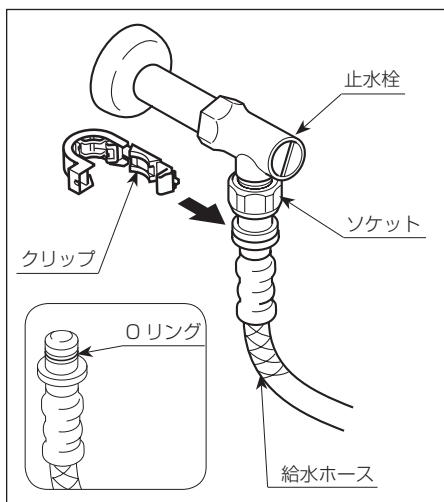


7. 給水ホースをソケットに差し込み、クリップを差し込みます。

注意

Oリングを傷つけないように注意してください。

※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。



⚠ 注意

給水ホースの接続は確実に行ってください。

※接続部の固定が不十分ですと漏水の原因になります。

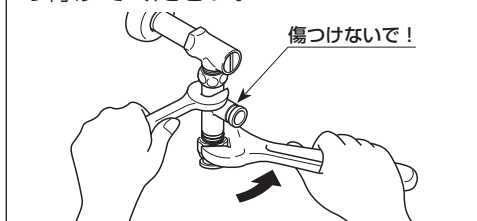


指示実行

分岐金具が付いている場合の給水ホースの取付方法

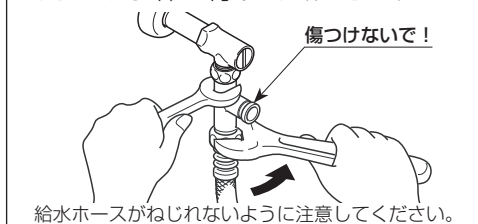
クリップリング式の場合

分岐金具の六角部スパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、ソケットをスパナ等でしっかり締め付けてください。

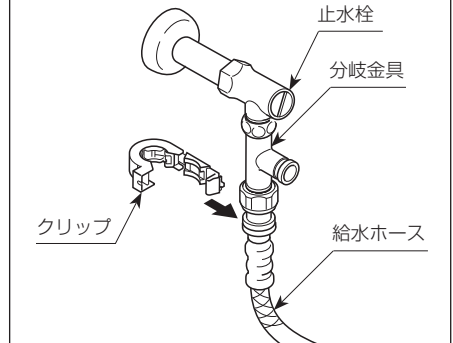


袋ナットの場合

分岐金具の六角部スパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けてください。



分岐金具が付いている場合のクリップリングの取付位置

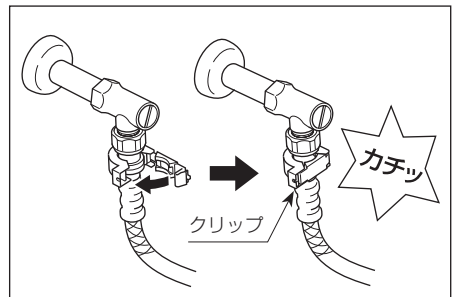


8. クリップを折り曲げ、給水ホースとソケットを確実に固定します。

注意

クリップの先端がカチッと音がるまではめ込んでください。

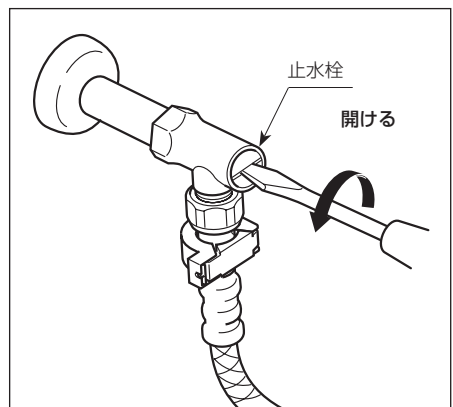
※ きちんとはまっていないと漏水します。



9. 止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。

10. 給水時間が短くなったことを確認します。

※ 接続部が漏水していないことを確認してください。

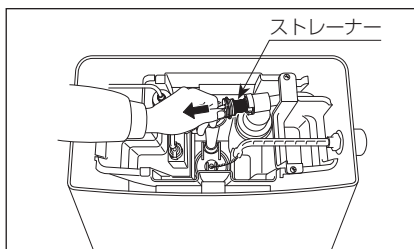
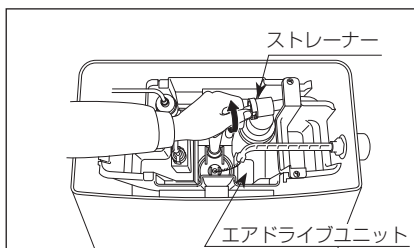


■水の流れが悪い、または汚物がよく残る場合

ECO4 タイプの場合、エアドライブユニットのストレーナーが目詰まりしている可能性があります。

以下の手順でストレーナーを清掃してください。

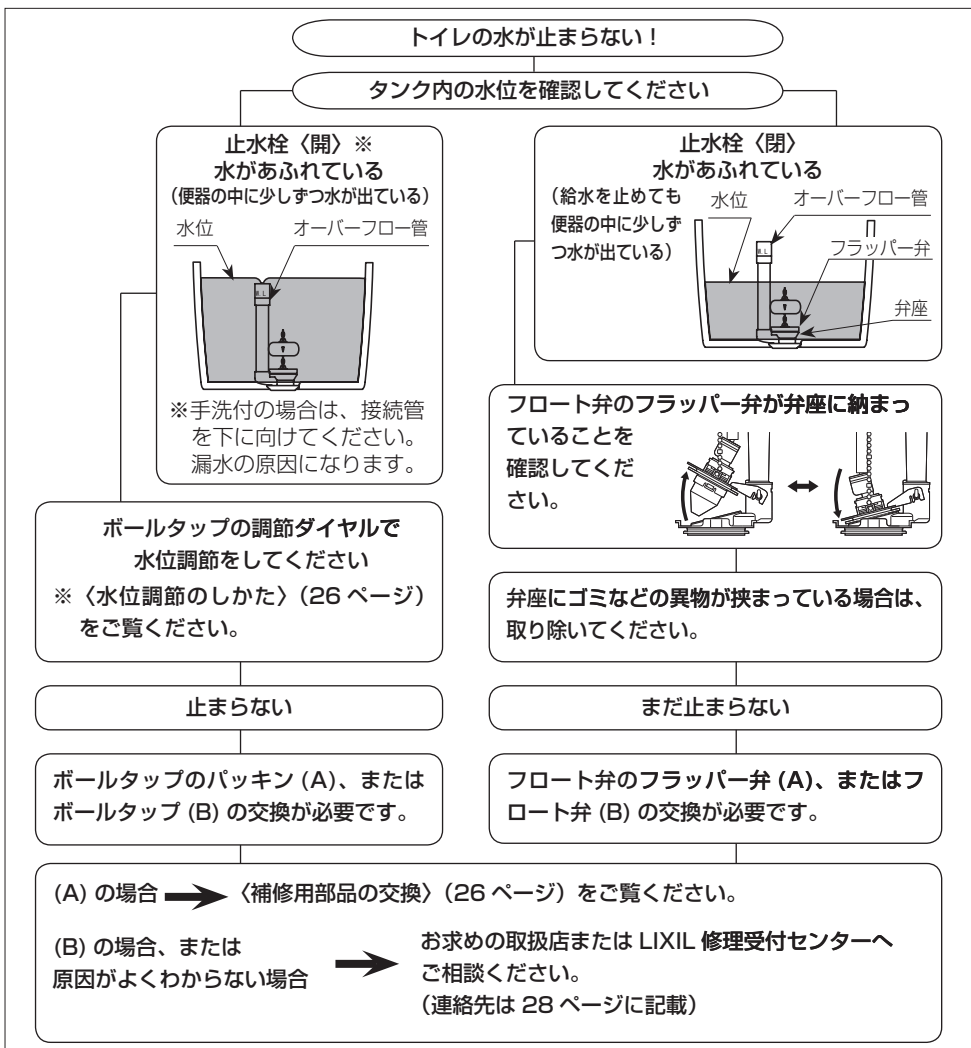
1. 止水栓を閉じます。
2. ロータンクフタと内フタを外します。
3. 吸引器上部のストレーナーのツマミを反時計回りに回し、ストレーナーを引き抜きます。
4. 詰まったゴミを流水などで洗い流します。
5. ストレーナーを吸引器に戻します。
6. 内フタとロータンクフタをはめ込みます。
7. 止水栓を開きます。



※止水栓の操作のしかたは〈ロータンクへの給水時間が長くなった場合〉(19 ページ)、内フタの外し方は〈内フタの外し方〉(25 ページ)をご覧ください。

■便器洗浄水がなかなか止まらない場合

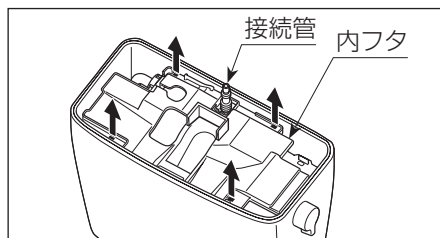
便器洗浄後 5 分以上たっても、洗浄水が止まらない場合は、止水栓を右に回して給水を止め、ロータンクフタおよび内フタを外して以下の確認を行ってください。
※止水栓の操作のしかたは〈ロータンクへの給水時間が長くなった場合〉(19 ページ)、内フタの外し方は〈内フタの外し方〉(25 ページ) をご覧ください。



〈ロータンクフタ・内フタの外し方・取り付け方〉

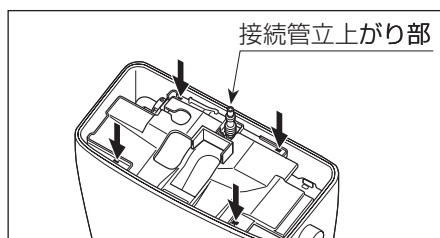
●ロータンクフタ・内フタの外し方

- (1) ロータンクフタを外します
- (2) 手洗付の場合、接続管を内フタから外します。
- (3) 内フタのツメ 4 カ所（図中矢印）を外して、内フタを取り外します。

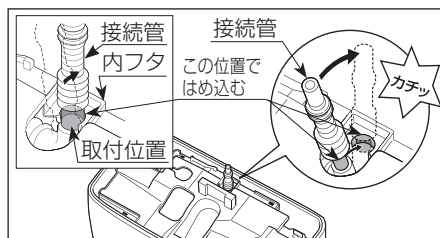


●ロータンク・内フタの取り付け方

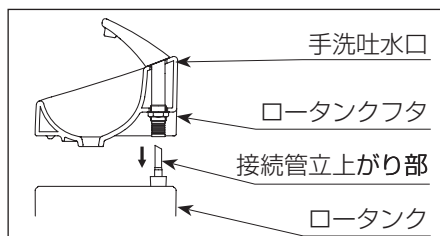
- (1) 内フタに接続管を通し、矢印（図中）4 カ所を押して、“パチン”と音がするまで内タンクにしっかりとめ込みます。



- (2) 接続管立上がり部を内フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとめ込みます。



- (3) 接続管立上がり部を手洗吐水口に差し込むようにして、ロータンクフタを載せます。



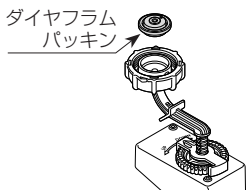
〈補修用部品の交換〉

ダイヤフラムパッキンや、アームパッキン、フラッパー弁が劣化したり、キズ付いたりすると止水不良を起こすことがあります。

この場合は、対象部品を交換する必要があります。

■ボールタップ止水パッキン

(品番：A-7630)



- ※ 交換方法は、付属の説明書をご覧ください。
- ※ お求めのタンクセット品番が右記に該当しない場合は、LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。
- ※ 購入方法は、30 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

■フラッパー弁

(品番：A-7633、他)



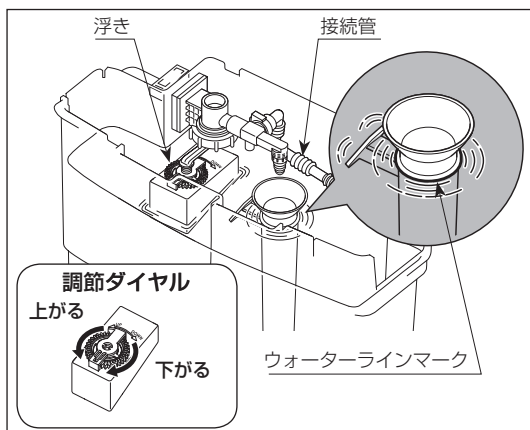
タンクセット代表品番	フラッパー弁品番
DT-Z180U, Z150U, Z180HU, Z150HU	A-7633
DT-Z180P, Z150P	A-7633-1
DT-Z180T, Z150T	A-7633-2

〈水位調節のしかた〉

- ロータンク内の水位（水面）がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認してください。

水位がウォーターラインマークに合っていない場合は、以下の要領で直してください。

- (1) 手洗付の場合は、接続管を下に向けます。
- (2) 浮きの調整ダイヤルを回して、水位をウォーターラインマークに合わせます。
(調節ダイヤルを1回転させると、水位は3～4mm変化します。)
- (3) 調節後、便器洗浄を行い、水位を確認してください。
- (4) 接続管（手洗付）を元に戻し、ロータンクフタを取り付けます。



アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（☞ 17 ページ）を参照して確認してください。

2. 保証書と保証期間

保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。
(連絡先は次ページに記載)

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

- (1) ご住所、ご氏名、電話番号
- (2) 商品名
- (3) 型式番号 [商品に表示 (右図参照)]
- (4) ご購入日
- (5) 故障内容・異常の状況
- (6) 訪問ご希望日



4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

「お客さま相談センター」または LIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用にならない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、メンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

※ 別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。(連絡先は 28 ページに記載)

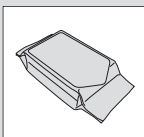
別 売 品 に つ い て

〈メンテナンス用品〉

■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。

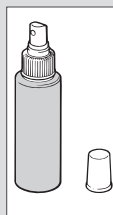
使用後、便器にそのまま流せます。(👉 12 ページ)



■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。

脱臭剤配合で便器にもご使用になります。(👉 12 ページ)

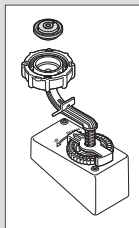


〈補修用部品〉

■ボールタップ止水パッキン (品番：A-7630)

水位調節してもボールタップからの水が止まらない場合の補修用部品です。

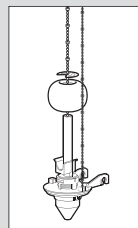
(👉 26 ページ)



■フラッパー弁 (品番：A-7633、他)

フラッパー弁が劣化や破損している場合の補修用部品です。

(👉 26 ページ)



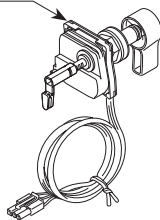
〈機能アップ商品〉

■流せるもん

（品番：CWA-67B、他）

リモコン操作で便器洗浄を行います。

流せるもん（本体）



流せるもん（リモコン）

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

●宅配サービスを利用される場合

LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）

〔ご注文フリーダイヤル〕

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9：00 ～ 17：00（土・日・祝日を除く）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

優良住宅部品（ベタリービング商品）保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名： (品番：)

お客さま	おなまえ	様	無料修理保証の対象及び期間	
	おところ 〒 電話 ()		無料修理保証期間 据付引渡し日から2ヶ年	
取扱店 販売店	〒 電話 ()	印	特別保証対象 特定機能等	左記特定機能 保証期間
	()	—	防水機能（使用上 支障なく水を溜め る機能をいう）	据付引渡し日から 5ヶ年
据付引渡し日	年 月 日			

お客さまへ
この保証書をお受け取りになるときに、据付引渡し日、取付店名、取扱印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、「取扱説明書」などにある「アフターサービス」に掲載の、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
 - 一般家庭用以外（車両・船舶及び使用頻度が高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷
 - 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
 - 不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
 - 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
 - 不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
 - 建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
 - 消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
 - 公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
 - 小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
 - 温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
 - 異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
 - 指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
 - 保証書の期限切れ、または提示がない場合
 - 本書に据付引渡し日・お客さまのお名前・取扱店名の記入がない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造切後最低 10 ヶ年です。

取扱店

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>